使用説明書 コピー機能 応用編

IPSiO Color 8150

1. 応用機能／画像編集機能

2. こんなときには

3. コピー初期設定

4. 付録

マークについて

本書で使われているマークには次のような意味があります。

⚠警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。使用説明書「安全上のご注意」にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。使用説明書「安全上のご注意」にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

※以上は、安全上のご注意についての説明です。

重要

誤って操作すると、紙づまり、原稿破損、データ消失の原因になることがあります。必ず、お読みください。

操作の前に

操作をする前に知っておいていただきたいこと、あらかじめ準備していただきたいことなどを説明しています。

補足

操作するときに気を付けることや、操作を誤ったときの対処方法などを説明しています。

制限

数値の制限や組み合わせできない機能、機能が使用できない状態を説明しています。

参照

参照先を示します。

［　］

画面のキーの名称を示します。

【　】

操作部（画面を除く）のキーの名称を示します。

おもなオプションの略称

本書中では次の略称で説明しています。

IPSiOドキュメントフィーダー タイプ8100→自動原稿送り装置（ADF＝Auto Document Feederの略）

IPSiO圧板 タイプ8100→原稿カバー

2000枚フィニッシャー タイプ8000→フィニッシャー

拡張HDD タイプCⅡ→拡張HDD(40GB)

IPSiOサイド排紙トレイ タイプ8100→サイド排紙トレイ

2000枚給紙テーブル タイプ8000→給紙テーブル

両面印刷ユニット タイプ8000→両面ユニット

使用説明書の分冊説明

コピー機能についての使用説明書には、「コピー機能 応用編（本書）」と「コピー機能 基本編」の2冊があります。本機の用途や状況に応じて使い分け、スムーズなご使用にお役立てください。

コピー機能 応用編（本書）

コピーをより便利に使いこなすための機能や、各種設定などについて説明しています。

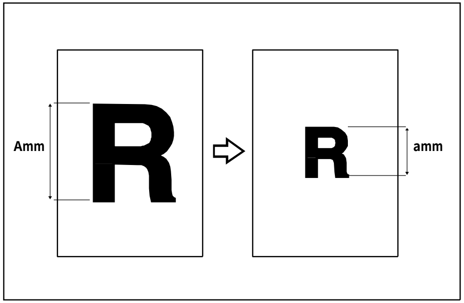
コピー機能 基本編

基本的なコピーのとりかたや、基本的な機能について説明しています。必要になったときすぐ手にできるように、本機の近くに保管してください。

❖ 第1章　基本コピー
本機の起動のしかたや原稿のセットのしかた、また拡大／縮小や両面コピーなど基本的な機能について説明しています。

寸法変倍

原稿とコピーのそれぞれの長さから倍率を計算して拡大／縮小コピーします。



操作の前に

原稿とコピーの長さを A と a のように対応させて測り、指定します。

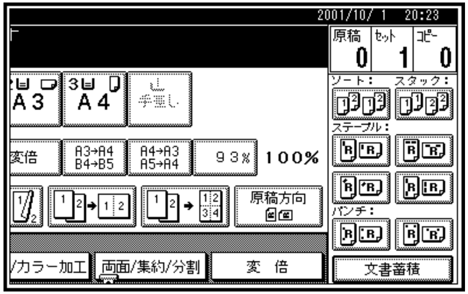
制限

- 計算された倍率が指定できる最小倍率以下または最大倍率以上のときはそれぞれ最小倍率または最大倍率に補正されます。このとき画像が欠けたり、余白ができることがあります。

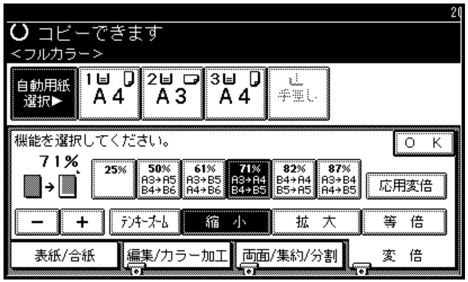
補足

- 倍率は25〜400%の範囲内で選択されます。

1 ［変倍］を押します。

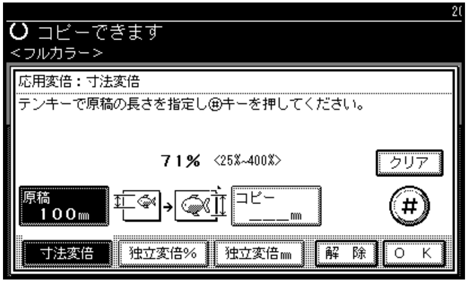


2 ［応用変倍］を押します。



3 ［寸法変倍］が反転表示されていることを確認します。

4 テンキーで原稿の長さを入力し、[#] を押します。



補足

- ❒ 入力できる長さは1～999mm（1mm単位）です。
- ❒ 間違えたときは、[クリア] または【クリア／ストップ】キーを押して入力し直します。

5 テンキーでコピーの長さを入力し、[#] を押します。

補足

- ❒ 入力できる長さは1～999mm（1mm単位）です。
- ❒ 間違えたときは、[クリア] または【クリア／ストップ】キーを押して入力し直します。
- ❒ [#] を押した後に長さを変更するときは、[原稿] [コピー] を選択してから入力し直します。



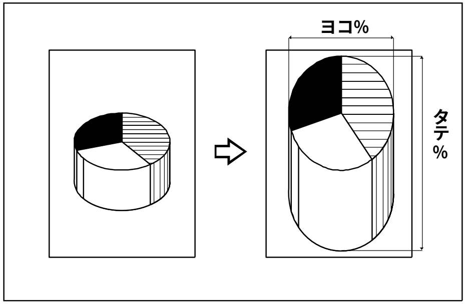
6 [OK] を押します。

7 [OK] を押します。

8 原稿をセットし、【スタート】キーを押します。

独立変倍%

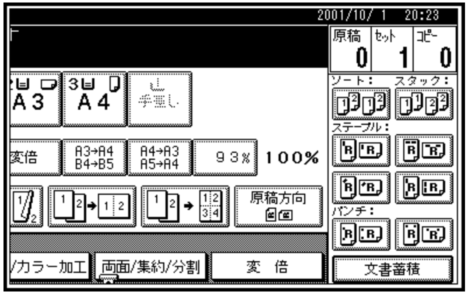
タテとヨコをそれぞれ異なる倍率でコピーします。画像を変形させることができます。



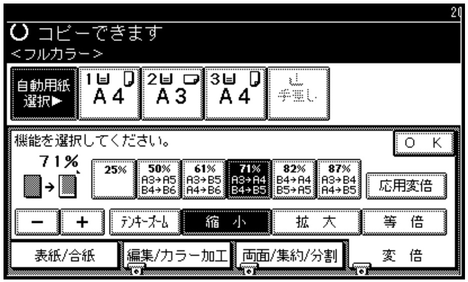
補足

- 原稿や用紙サイズに関係なく倍率を指定できますが、設定や状態によっては画像が欠けたり、余白ができることがあります。
- 「拡大／縮小」などで近い倍率を選択してから［＋］［－］を押して調整することもできます。

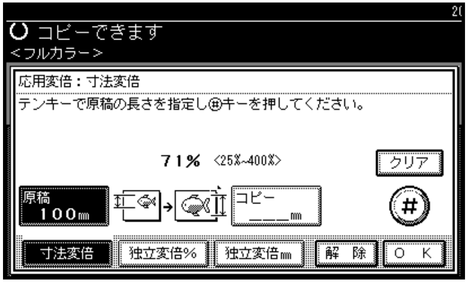
1 ［変倍］を押します。



2 ［応用変倍］を押します。



3 [独立変倍%] を押します。



テンキーで指定するとき

❶ [ヨコ] を押します。

❷ テンキーで倍率を入力し [#] を押します。



補足

❒ 間違えたときは、[クリア] または【クリア／ストップ】キーを押して入力し直します。

❸ [タテ] を押します。

❹ テンキーで倍率を入力し [#] を押します。

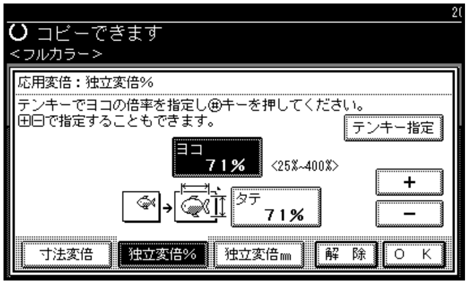
❺ [OK] を押します。

[+] [−] で指定するとき

❶ [[+][−]指定] を押します。

❷ [ヨコ] を押します。

❸ [+] [−] で倍率を指定します。



補足

❒ [+] または [−] を押すと1%ずつ倍率が変わります。押し続けると10%ずつ変わります。

❒ 間違えたときは [+] [−] で指定し直します。

❹ [タテ] を押します。

❺ [+] [−] で倍率を指定します。

❻ [OK] を押します。

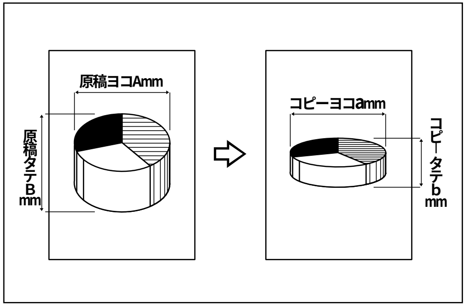
4 ［OK］を押します。

5 原稿をセットし、【スタート】キーを押します。

独立変倍 mm

原稿とコピーのタテとヨコをそれぞれ指定した長さになるように倍率を計算してコピーします。

画像を変形させることができます。



操作の前に

原稿とコピーの長さをAとa、Bとbのように対応させて測り、指定します。

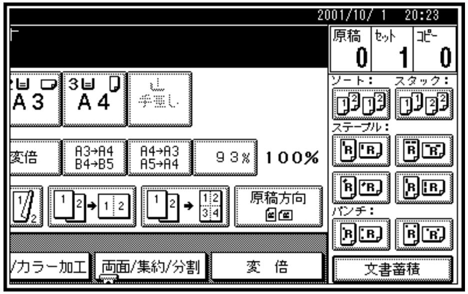
制限

- ❒ 計算された倍率が指定できる最小倍率以下または最大倍率以上のときはそれぞれ最小倍率または最大倍率に補正されます。このとき画像が欠けたり、余白ができたりすることがあります。

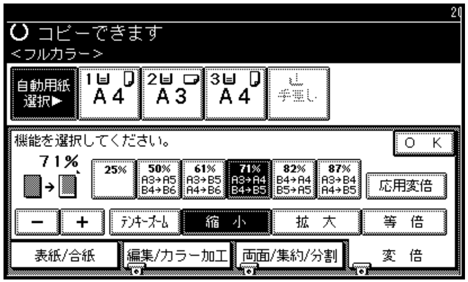
補足

- ❒ 入力できる長さは、コピータテ1〜999mm、コピーヨコ1〜9999mm（1mm単位）です。
- ❒ 倍率は25〜400%の範囲内で選択されます。

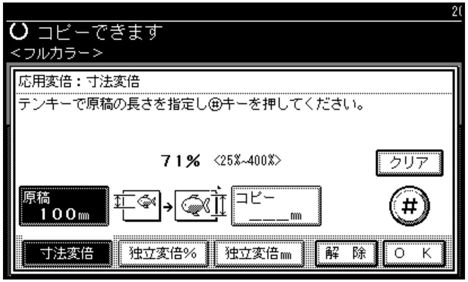
1 [変倍] を押します。



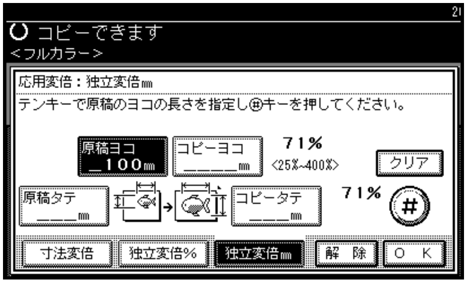
2 [応用変倍] を押します。



3 [独立変倍mm] を押します。



4 テンキーで原稿のヨコの長さを入力し、[#] を押します。



補足

- ❒ 入力できる長さは1〜9999mmです。
- ❒ 間違えたときは、[クリア] または【クリア／ストップ】キーを押して入力し直します。

5 テンキーでコピーのヨコの長さを入力し、[#] を押します。

補足

- ❒ 入力できる長さは1〜9999mmです。

6 テンキーで原稿のタテの長さを入力し、[#] を押します。

補足

- ❒ 入力できる長さは1〜999mmです。

7 テンキーでコピーのタテの長さを入力し、[#] を押します。

補足

- ❒ 入力できる長さは1〜999mmです。
- ❒ 長さを変更するときは変更したい個所を押して入力し直します。

8 [OK] を押します。

9 [OK] を押します。

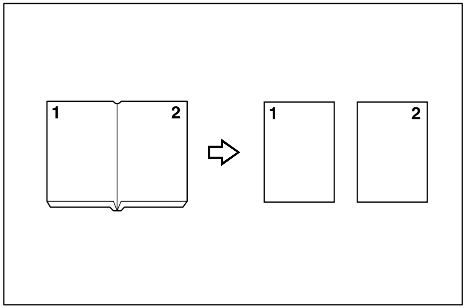
10 原稿をセットし、【スタート】キーを押します。

分割

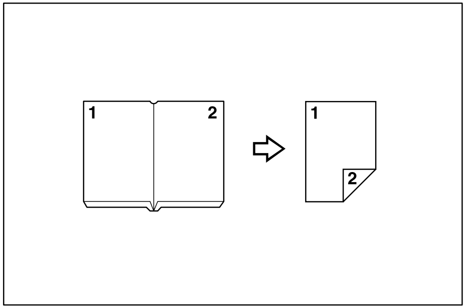
両面原稿の表裏や見開き原稿の左右ページを2枚の用紙に分けてコピーします。

分割には次の種類があります。

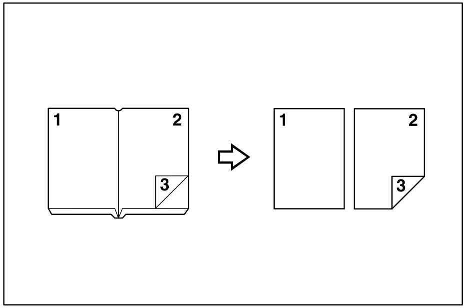
❖ **見開き→片面**
見開き原稿の左右ページを 1 枚ずつ用紙の片面にコピーします。



❖ **左右ページ両面（両面ユニット、拡張HDD(40GB)が必要）**
見開き原稿を用紙の両面にコピーします。



❖ **表裏ページ両面（両面ユニット、拡張HDD(40GB)が必要）**
見開き原稿と同じ状態になるように用紙の両面にコピーします。



制限

- ❒ 自動原稿送り装置 (ADF) からの分割機能は使用できません。

補足

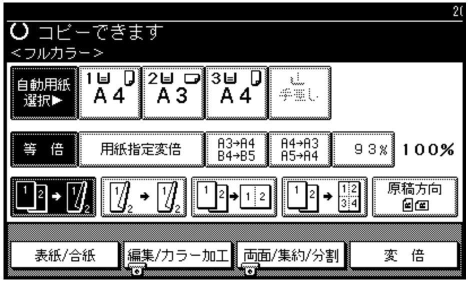
- ❒「見開き→片面」のとき、見開き原稿と片面コピーの用紙サイズは次のとおりです。（等倍のとき）

原稿	用紙
A3	A4×2枚
B4	B5×2枚
A4	A5×2枚

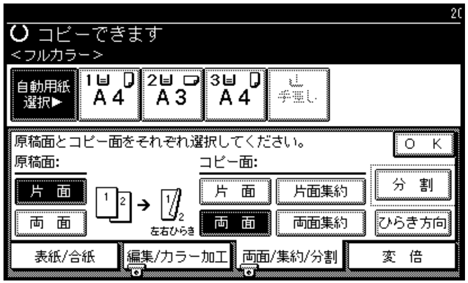
- ❒「左右ページ両面」「表裏ページ両面」のとき、見開き原稿と両面コピーの用紙サイズは次のとおりです。（等倍のとき）

原稿	用紙
A3	A4両面
B4	B5両面
A4	A5両面

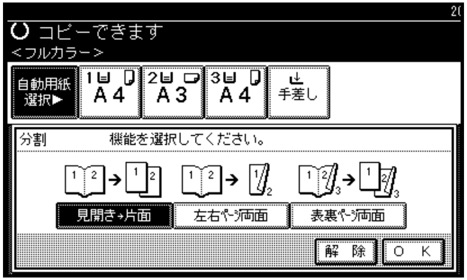
1 ［両面/集約/分割］を押します。



2 ［分割］を押します。



3 分割の種類を選択し、[OK] を押します。



4 [OK] を押します。

5 [自動用紙選択] が選択されていることを確認します。

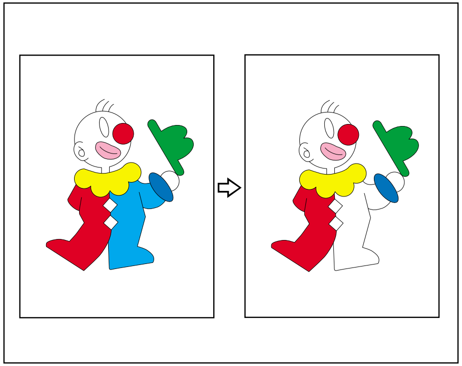
補足

- ❒ 選択されていないときは、[自動用紙選択] を押します。

6 原稿をセットし、【スタート】キーを押します。

指定色消去

原稿の中のある色の画像を消してコピーします。

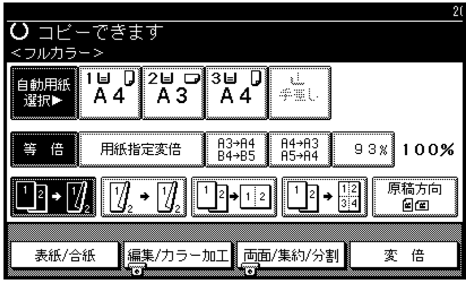


GCCLPR3J

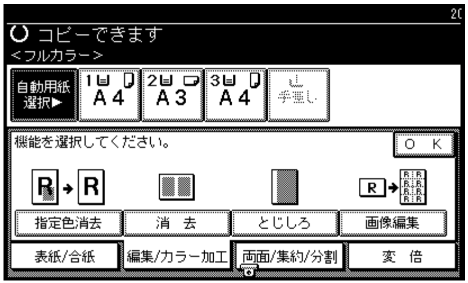
補足

- ❒ 4色まで指定することができます。
- ❒ 消去する色の幅を5段階に調整できます。色の幅を「広く」設定していると、レッドを指定した場合、マゼンタやオレンジに近い色まで消去してしまいます。色の幅は「初期設定」で調整できます。⇒ P.120「カラー幅調整」

1 [編集/カラー加工] を押します。

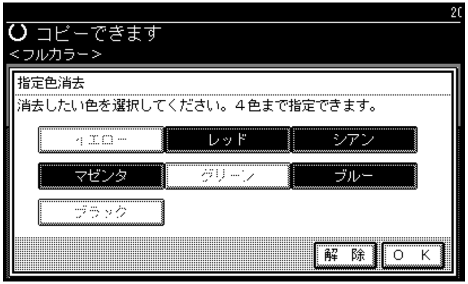


2 [指定色消去] を押します。



3 消去する色を選択します。

選択した色のキーが反転表示されます。



補足

- ❒ 選択した（反転表示している）キーを押すと選択を取り消すことができます。
- ❒ 同時に4色まで選択できます。

4 消去する色をすべて選択後、[OK] を押します。

5 原稿をセットし、【スタート】キーを押します。

消去

本のようにとじた原稿をコピーするとき、原稿の中央や周囲にできる影を消してコピーします。

消去には、次の3種類があります。

❖ **枠消去**
原稿周囲の影を消去します。

❖ **センター消去**
原稿中央の影を消去します。

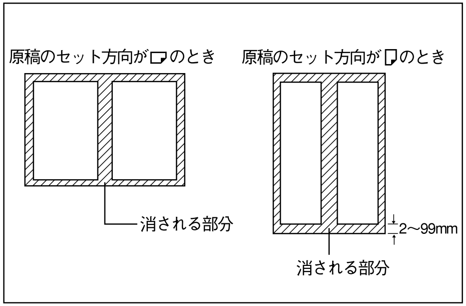
❖ **センター・枠消去**
原稿中央と周囲の影を消去します。

補足

- ❒ 消去幅の初期設定値は10mmです。
- ❒ 消去幅は2〜99mmの範囲内（1mm単位）で設定できます。消去の位置と幅は初期設定で設定します。、⇒ P.112「枠消去幅設定」、P.112「センター消去幅」
- ❒ 変倍率によって消去幅も変わります。
- ❒ 次の表の原稿サイズ以外のときは、消去される部分がずれることがあります。

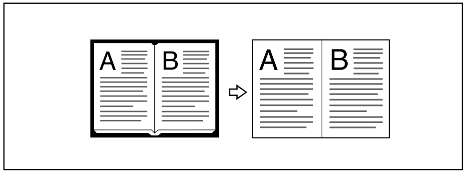
原稿セット先	原稿サイズ、方向
原稿ガラス	A3▭、B4▭、A4▯▭、B5▯▭
自動原稿送り装置(ADF)	A3▭、B4▭、A4▯▭、B5▯▭、A5▯▭、11×17▭、Letter（8 1/2×11）▯

- ❒ 原稿の向きと消去される部分は次のとおりです。



枠消去

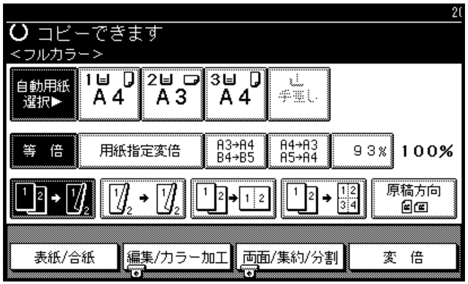
原稿周囲の影を消去します。上下左右の消去幅は同一幅に設定したり、個別に設定することができます。



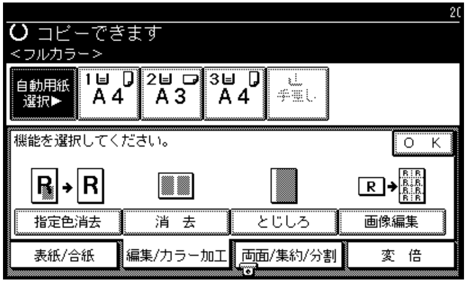
補足

- ❒ **原稿中央の影も消去するときは、「センター・枠消去」で行います。**⇒ P.21 「センター・枠消去」

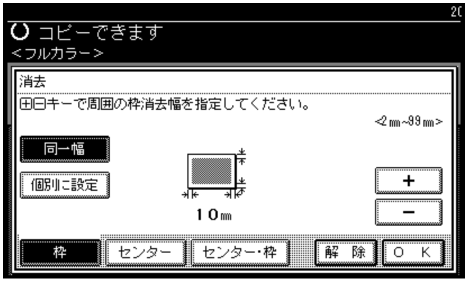
1 [編集/カラー加工] を押します。



2 [消去] を押します。



3 [枠] を押します。



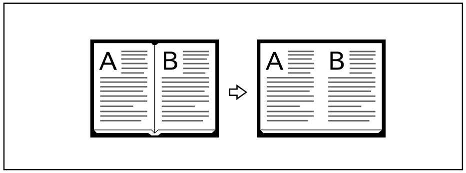
4 [+] [−] で枠消去幅の寸法を指定し、[OK] を押します。

5 [OK] を押します。

6 原稿をセットし、【スタート】キーを押します。

センター消去

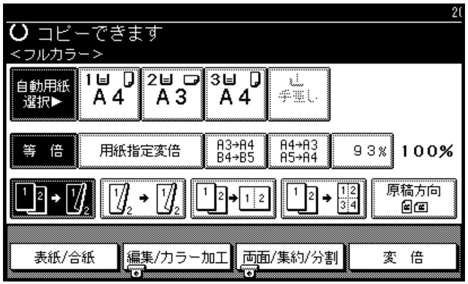
原稿の中央の影を消去します。



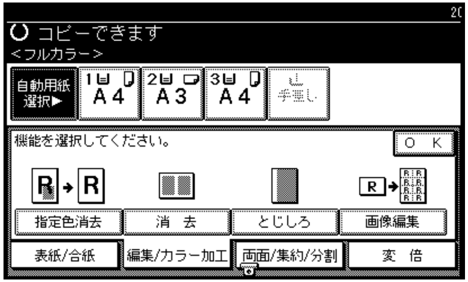
補足

- ❒ 原稿周囲の影も消去するときは、「センター・枠消去」で行います。⇒ P.21 「センター・枠消去」

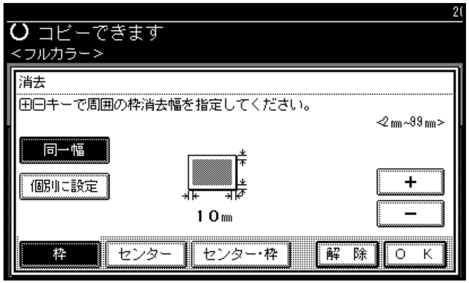
1 [編集/カラー加工] を押します。



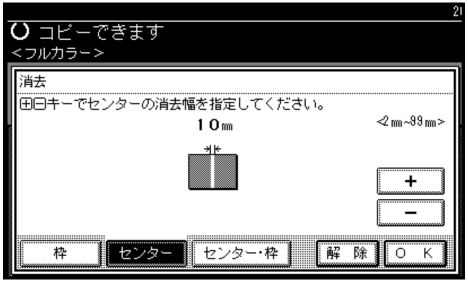
2 [消去] を押します。



3 [センター] を押します。



4 [+] [−] でセンター消去幅の寸法を指定し、[OK] を押します。



補足

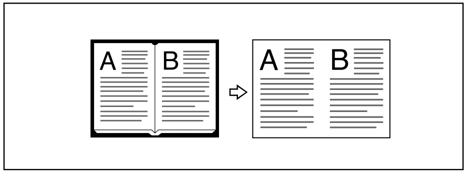
- ❒ 設定を間違えたときは [+] [−] を押し、指定し直します。

5 [OK] を押します。

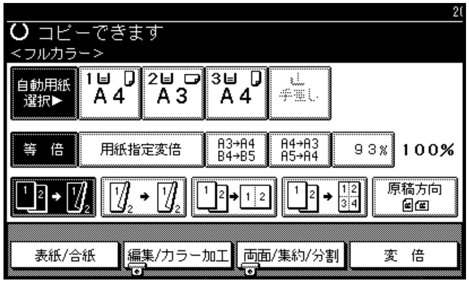
6 原稿をセットし、【スタート】キーを押します。

センター・枠消去

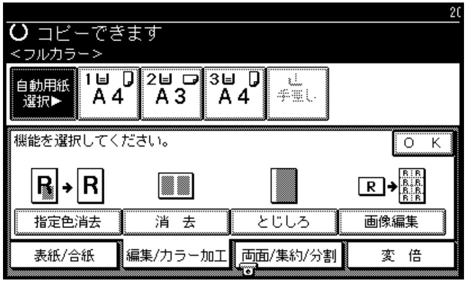
原稿中央と周囲の影を消去します。センター、上下左右の枠の消去幅は、すべて同一に設定したり、個別に設定することができます。



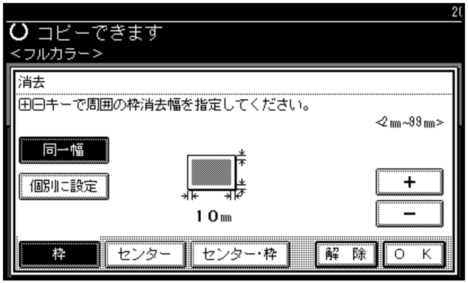
1 [編集/カラー加工] を押します。



2 [消去] を押します。



3 [センター・枠] を押します。



4 消去幅を指定します。

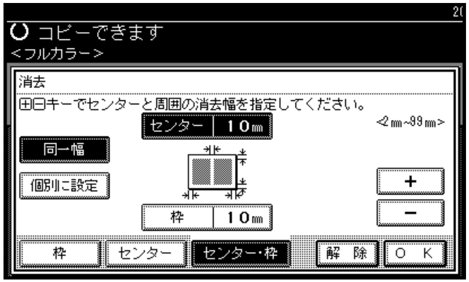
同じ幅で消去するとき

❶ [センター] を押し、[+] [−] でセンター消去幅の寸法を指定します。

補足

- ❒ 設定を間違えたときは [+] [−] を押し、指定し直します。

❷ [同一幅] を押します。



❸ [枠] を押し、[+] [−] で枠消去幅の寸法を指定します。

補足

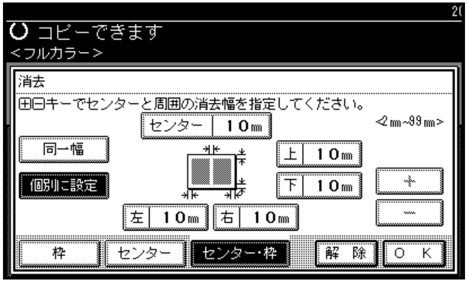
- ❒ 設定を間違えたときは [+] [−] を押し、指定し直します。

❹ [OK] を押します。

消去幅を変更するとき

❶ ［個別に設定］を押します。

❷ 変更したい部分のキーを押し、［＋］［－］で枠消去幅の寸法を指定します。



補足

❒ 設定を間違えたときは［＋］［－］を押し、指定し直します。

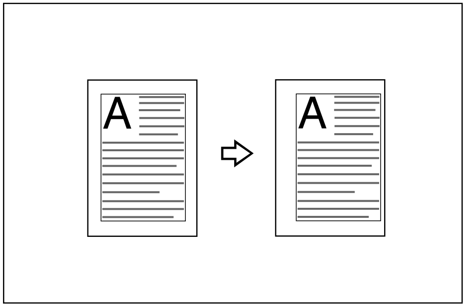
❸ ［OK］を押します。

5 ［OK］を押します。

6 原稿をセットし、【スタート】キーを押します。

とじしろ

用紙の左側または右側に余白を付けてコピーします。



制限

❒ 設定したとじしろ幅が大きすぎると画像が欠けてコピーされることがあります。

補足

❒ とじしろ位置や幅の初期設定値を変更することができます。⇒ P.110「左右とじしろ幅設定（おもて面）」、P.110「左右とじしろ幅設定（うら面）」、P.111「上下とじしろ幅設定（おもて面）」、P.111「上下とじしろ幅設定（うら面）」

❒ 片面→両面コピーするとき、うら面にとじしろを自動的に設定することができます。⇒ P.111「片面→両面時裏面自動左右とじしろ」、P.112「片面→両面時裏面自動上下とじしろ」

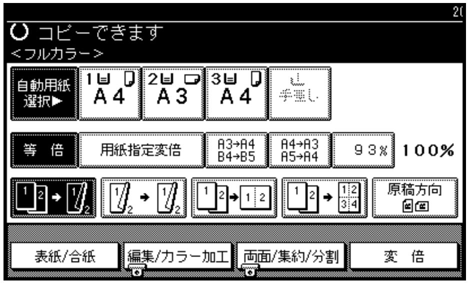
❒ 集約コピーのときは、集約処理後の面にとじしろを付けてコピーされます。

❒ ダブルコピー、リピートのときは面ごとにとじしろがつけられます。

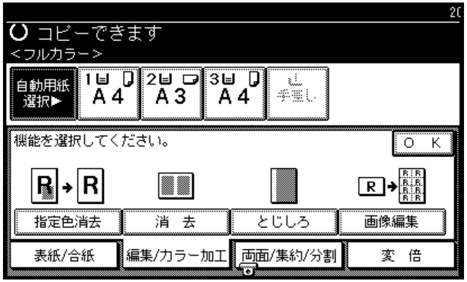
❒「両面→片面」のときは、原稿のおもて面とうら面に対してとじしろを設定します。

❒ とじしろは、左右0～30mm、上下0～30mmの範囲内（1mm単位）で設定できます。

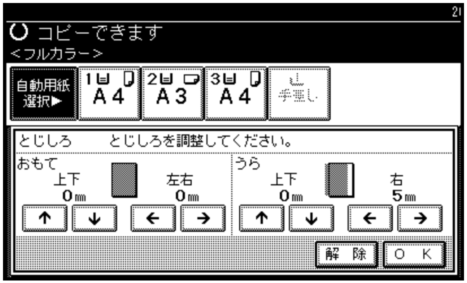
1 ［編集/カラー加工］を押します。



2 [とじしろ] を押します。



3 おもて面のとじしろを設定します。左右のとじしろを設定するときは［←］［→］、上下のとじしろを設定するときは［↓］［↑］を押して指定します。



補足

- ❒ 入力できる長さは0〜30mmです。
- ❒ 間違えたときは［←］［→］［↓］［↑］を押し、指定し直します。

4 うら面のとじしろを設定します。左右のとじしろを設定するときは［←］［→］、上下のとじしろを設定するときは［↓］［↑］を押して指定します。

補足

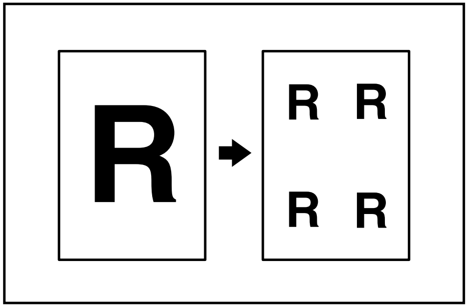
- ❒ 入力できる長さは0〜30mmです。
- ❒ うら面のとじしろは、「両面」または集約の「両面」を設定したときに有効です。
- ❒ うら面のとじしろを設定しないときは[OK]を押し、手順5に進みます。

5 [OK] を押します。

6 原稿をセットし、【スタート】キーを押します。

リピート

画像を一枚の用紙に繰り返してコピーします。



リピートする画像の指定方法には、次の種類があります。

❖ **原稿全体リピート**
画像全体を繰り返しコピーします。

❖ **範囲指定リピート**
指定した領域の画像を繰り返しコピーします。まず領域の基点を決め、次に長さと幅を指定して領域の位置を決めます。

補足

❒ 1枚の用紙にリピートできる個数は、原稿サイズ、用紙サイズ、変倍率によって自動的に決まります。

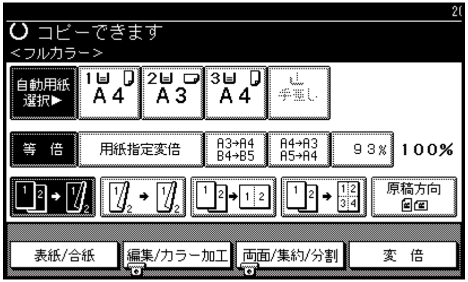
❒ 画像を分ける仕切り線を入れることができます。
⇒ P.114 「リピート仕切り線」

❒ 用紙サイズ、変倍率、用紙の方向、仕切り線の種類によって、リピートした画像が欠けることがあります。

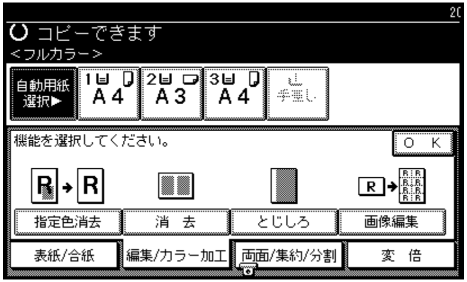
原稿全体リピート

1 変倍率と用紙のサイズを選択します。

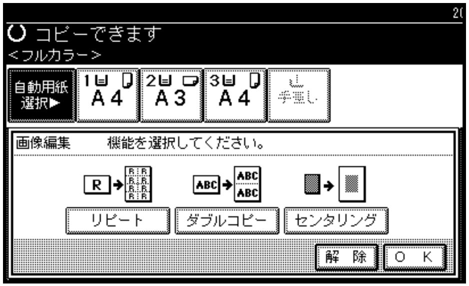
2 [編集/カラー加工] を押します。



3 [画像編集] を押します。



4 [リピート] を押します。



5 [原稿全体] が選択されていることを確認し、[OK] を押します。



6 [OK] を押します。

7 [OK] を押します。

8 原稿をセットし、【スタート】キーを押します。

範囲指定リピート

制限

- ❒ 範囲指定リピートでコピーするときは、原稿を原稿ガラスにセットしてください。

1 領域基点の位置（X1、Y1）、領域の長さと幅（X2、Y2）を決めます。

補足

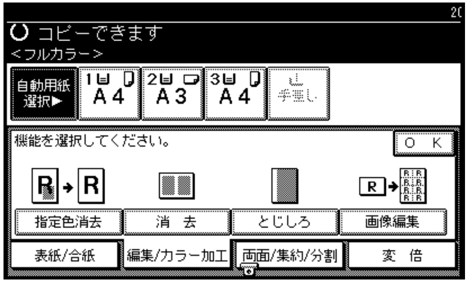
- ❒ X1：0〜412mm、X2：20〜432mm、Y1：0〜277mm、Y2：20〜297mmの範囲で設定できます。

2 変倍率と用紙のサイズを選択します。

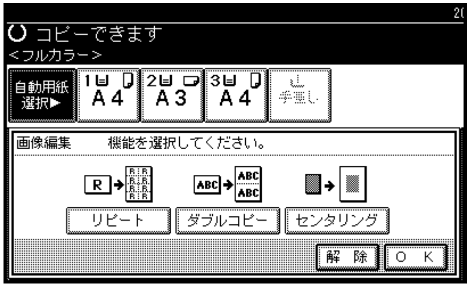
3 ［編集/カラー加工］を押します。



4 ［画像編集］を押します。



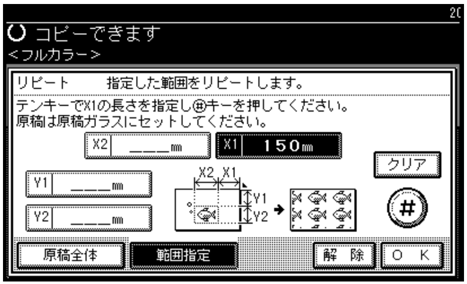
5 ［リピート］を押します。



6 ［範囲指定］を押します。



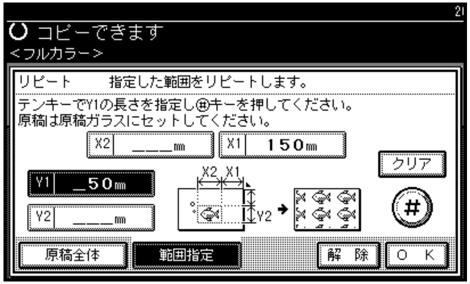
7 テンキーで［X1］の長さを入力し、［#］を押します。



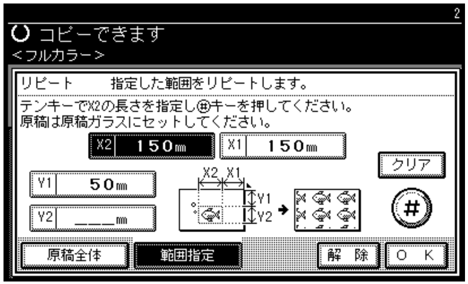
補足

- ❒ 間違えたときは、［クリア］または【クリア／ストップ】キーを押し、入力し直します。

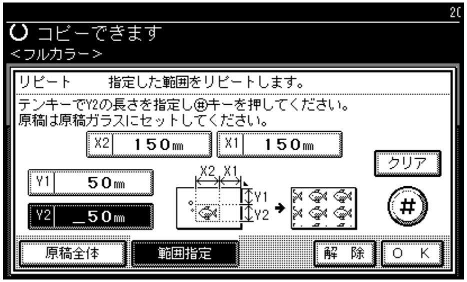
8 テンキーで［Y1］の長さを入力し、［#］を押します。



9 テンキーで［X2］の長さを入力し、［#］を押します。



10 テンキーで［Y2］の長さを入力し、[#]を押します。



11 ［OK］を押します。

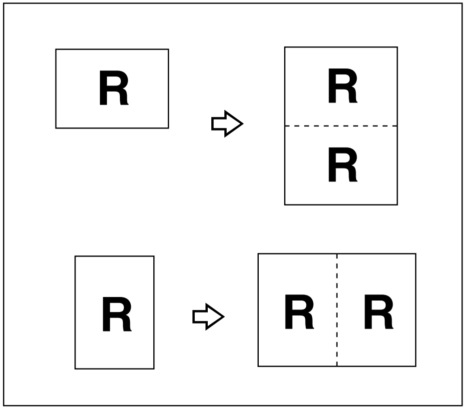
12 ［OK］を押します。

13 ［OK］を押します。

14 原稿ガラスに原稿をセットし、【スタート】キーを押します。

ダブルコピー

1枚の原稿を1枚の用紙の上下または左右に2つコピーします。



制限

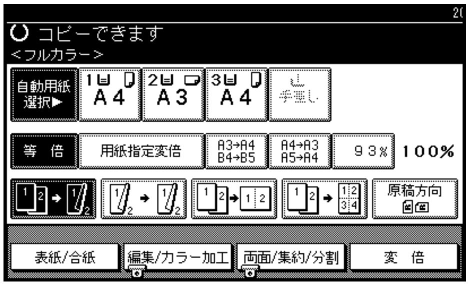
- ❒ A5の原稿は原稿ガラスではサイズを読み取れません。手動で用紙を選択するか自動原稿送り装置(ADF)にセットしてください。
- ❒ 手差しコピーはできません。

補足

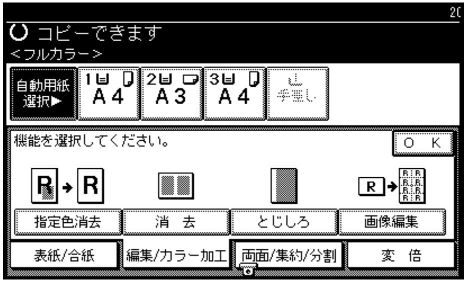
- ❒ 画像を分ける仕切線を入れることができます。⇒ P.115 「ダブルコピー仕切り線」
- ❒ 原稿と用紙サイズの組み合わせは次のとおりです。(等倍のとき)

原稿サイズ、方向	用紙サイズ、方向
A5	A4
A4	A3
A5	A4

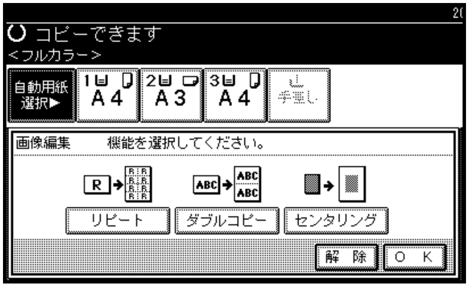
1 [編集/カラー加工] を押します。



2 [画像編集］を押します。



3 [ダブルコピー］を押します。



4 [OK］を押します。

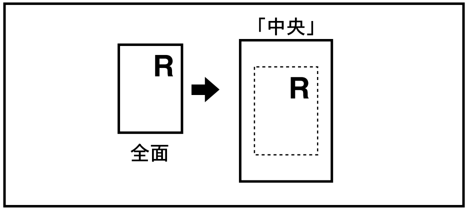
5 [OK］を押します。

6 用紙を選択します。

7 原稿をセットし、【スタート】キーを押します。

センタリング

画像をコピー用紙の中央に移動してコピーします。



制限

- ❒ 手差しコピーはできません。
- ❒ セットされている用紙と違う方向に原稿をセットしても、画像の90°回転（回転コピー）はできません。ただし「用紙指定変倍」と組み合わせたときは、画像の90°回転ができます。
- ❒ 原稿サイズが読み取れないときは、センタリング機能がはたらきません。
- ❒ 集約コピーのときは集約領域ごとにセンタリングされます。

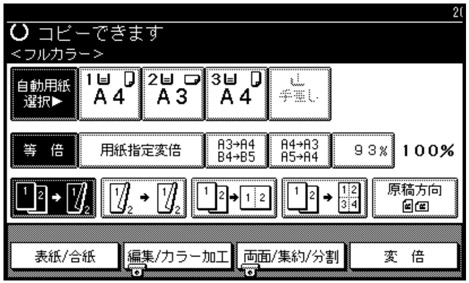
補足

- ❒ センタリングできる原稿のサイズ、方向は次のとおりです。

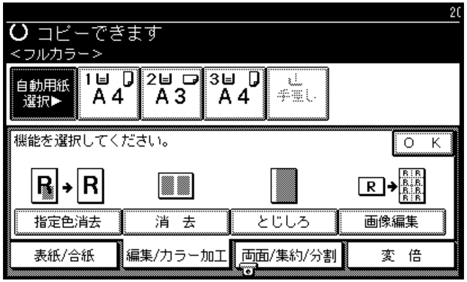
原稿セット先	原稿サイズ、方向
原稿ガラス	A3▭、B4▭、A4▯▭、B5▯▭
自動原稿送り装置(ADF)	A3▭、B4▭、A4▯▭、B5▯▭、A5▯▭、11×17▭、Letter($8^1/_2$×11)▯

1 用紙を選択します。

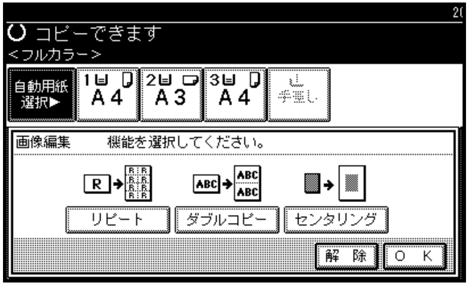
2 ［編集/カラー加工］を押します。



3 [画像編集] を押します。



4 [センタリング] を押します。



補足

❒ 間違えたときは [解除] を押してセンタリングを解除します。

5 [OK] を押します。

6 [OK] を押します。

7 原稿をセットし、【スタート】キーを押します。

表紙

表紙用の用紙にコピーします。

表紙には次の種類があります。

❖ **おもて表紙**
原稿の1ページ目を表紙用の用紙にコピーします。

❖ **両表紙**
1ページ目の原稿と最終ページの原稿を表紙用の用紙にコピーします。

制限

❒ 表紙および本文用の用紙に、手差しトレイを指定することはできません。

操作の前に

機能を選択する前に、表紙用紙を入れるためのトレイの設定をしてください。⇒使用説明書「システム設定編2 スキャナーユニット　タイプ8100対応版」「表紙トレイ設定（コピー／ドキュメントボックス機能のみ）」

表紙用の用紙はコピーする用紙と同じサイズのものを同じ方向にセットします。

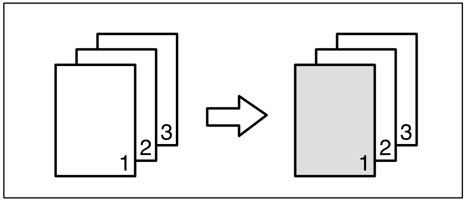
補足

❒ 表紙を［コピーしない］を選んだときは、表紙はコピー枚数としてカウントされません。

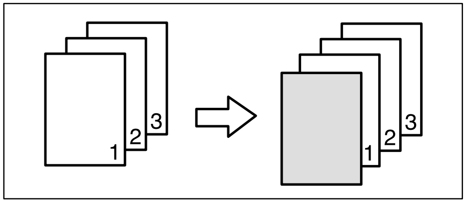
おもて表紙

原稿の1ページ目を表紙用の用紙にコピーします。または、1ページ目の前に表紙用の用紙を挿入します。

❖ **表紙用の用紙にコピーするとき**



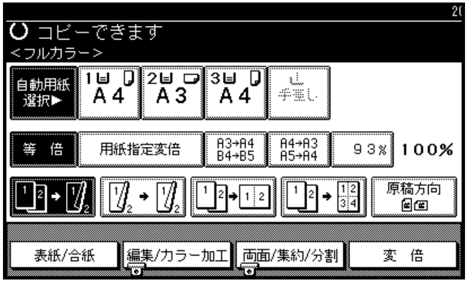
❖ **表紙用の用紙にコピーしないとき**



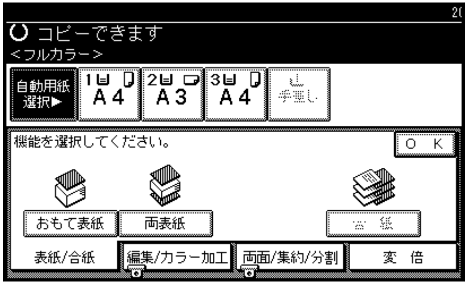
補足

- ❒ 表紙用の用紙にコピーするかしないかを選択することができます。[コピーする] を選択すると1ページ目が表紙用の用紙にコピーされます。[コピーしない] を選択すると表紙用の用紙だけが1ページ目の前に挿入されます。
- ❒ [コピーする] を選択するときは、コピーする面が片面か両面かの設定をしてください。⇒ 使用説明書「システム設定編2 スキャナーユニット タイプ8100対応版」「表紙トレイ設定（コピー／ドキュメントボックス機能のみ）」
- ❒「表紙トレイ設定」（システム初期設定）での「表示のタイミング」の設定によっては、両面コピー時に従うコピー方法の設定先は異なります。
  - 「機能選択時」…「表紙トレイ設定」での設定に従います。
  - 「常時表示」…「用紙種類設定」での設定に従います。
    ⇒使用説明書「システム設定編2 スキャナーユニット タイプ8100対応版」「用紙種類設定：トレイ1～4」「表紙トレイ設定（コピー／ドキュメントボックス機能のみ）」
- ❒ 集約機能と組み合わせたとき、おもて表紙を集約するかどうかを設定できます。⇒ P.113 「おもて表紙ページ集約設定」

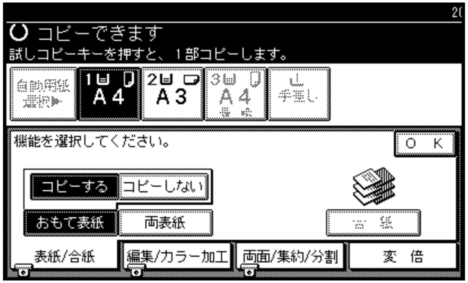
1 [表紙/合紙] を押します。



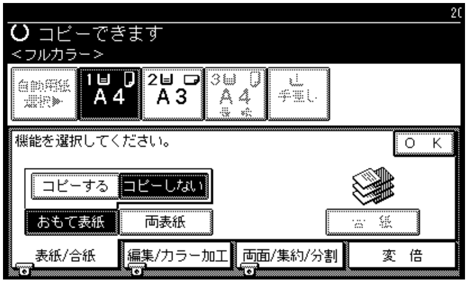
2 [おもて表紙] を押します。



3 表紙用の用紙に[コピーする][コピーしない]を選択します。



4 本文用の用紙がセットされたトレイを選択します。



5 原稿をセットし、【スタート】キーを押します。

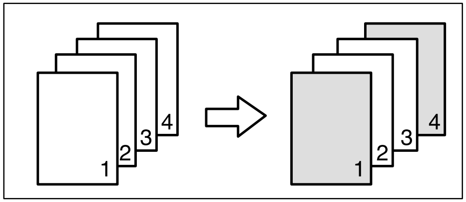
補足

❒ 原稿ガラスに原稿をセットしているときは、最後の原稿の読み取りが終了したら【#】キーを押します。

両表紙

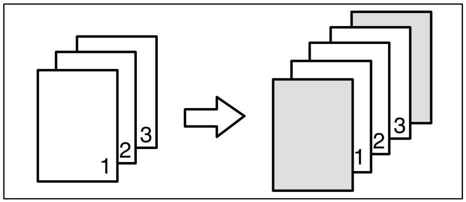
1ページ目の原稿と最終ページの原稿を表紙用の用紙にコピーします。

❖ 表紙用の用紙にコピーするとき



GCCOVE0J

❖ 表紙用の用紙にコピーしないとき



補足

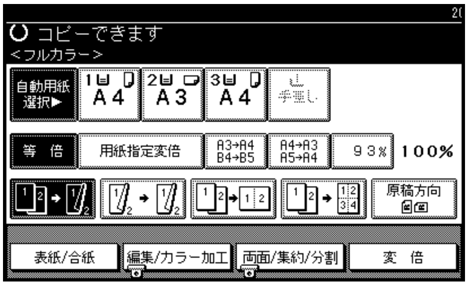
❒ 表紙用の用紙にコピーするかしないかを選択することができます。[コピーする]を選択すると1ページ目と最終ページが表紙用の用紙にコピーされます。[コピーしない]を選択すると表紙用の用紙だけが1ページ目の前と最終ページの後ろに挿入されます。

❒ ［コピーする］を選択するときは、コピーする面が片面か両面かの設定をしてください。⇒使用説明書「システム設定編2　スキャナーユニット　タイプ8100対応版」「表紙トレイ設定（コピー／ドキュメントボックス機能のみ）」

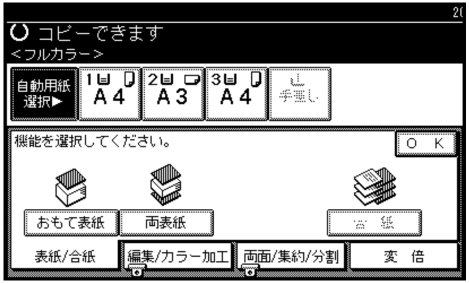
❒「表紙トレイ設定」（システム初期設定）での「表紙タイミング」の設定によっては、両面コピー時に従うコピー方法の設定先は異なります。

- 「機能選択時」…「表紙トレイ設定」での設定に従います。
- 「常時表示」…「特殊紙表示設定」での設定に従います。
  ⇒使用説明書「システム設定編2 スキャナーユニット　タイプ8100対応版」「用紙種類設定：トレイ1～4」「表紙トレイ設定（コピー／ドキュメントボックス機能のみ）」

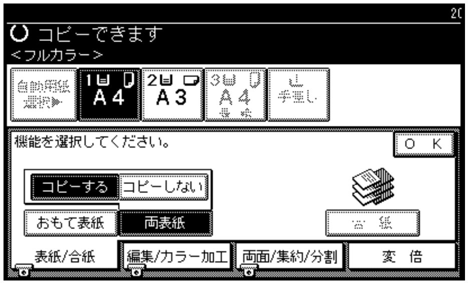
1 ［表紙/合紙］を押します。



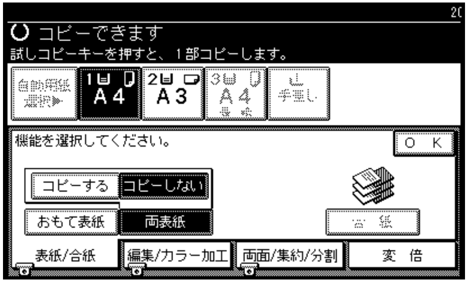
2 ［両表紙］を押します。



3 表紙用の用紙に［コピーする］［コピーしない］を押します。



4 **本文用の用紙がセットされたトレイを選択します。**



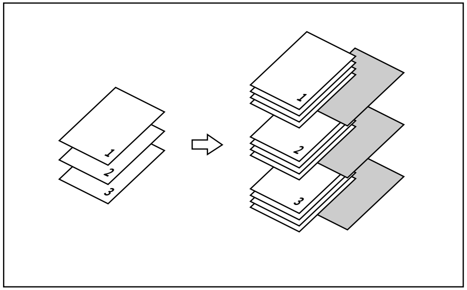
5 **原稿をセットし、【スターート】キーを押します。**

補足

- ❒ **原稿ガラスに原稿をセットしているときは、最後の原稿の読み取りが終了したら【#】キーを押します。**

合紙

原稿のページが変わるごとに、コピーに合紙用紙を挿入します。OHPフィルムにコピーしたとき1枚ごとに自動的に用紙を挿入したり、スタック機能として使ったりすることができます。合紙にもコピーすることができます。



操作の前に

機能を選択する前に、合紙用紙を入れるためのトレイの設定をしてください。⇒使用説明書「システム設定編2 スキャナーユニット　タイプ8100対応版」「合紙トレイ設定（コピー／ドキュメントボックス機能のみ）」

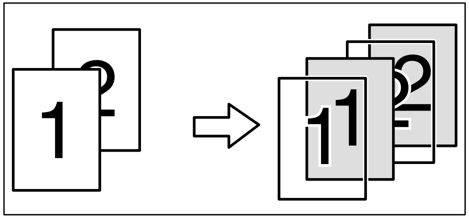
工場出荷時、「片面→両面コピー」が選択されています。合紙機能を利用するときは、［両面／集約／分割］の「片面→片面」を設定してください。

補足

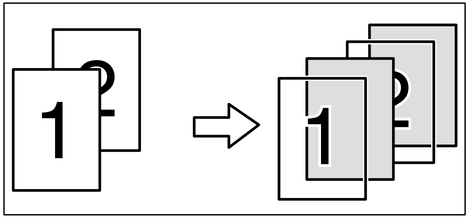
- ❒ 合紙機能で使用するトレイは、「合紙トレイ設定」で設定したトレイです。
- ❒ 合紙用紙は同じ方向にセットします。
- ❒ 合紙として挿入した用紙にコピーするかしないかを選択することができます。
- ❒ 合紙にコピーしないとき、合紙はコピー枚数としてカウントされません。

❖ OHPフィルムに合紙用紙を入れるとき

- コピーするとき



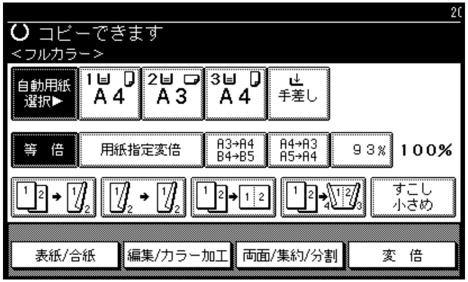
- コピーしないとき



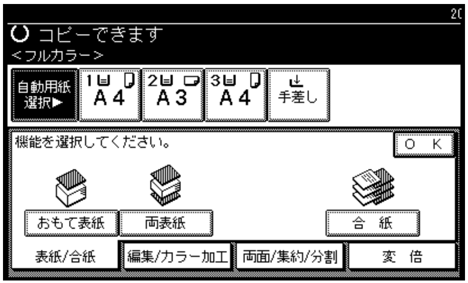
補足

- ❒ 手差しトレイにOHPフィルムをセットするときは、【#】キーを押して特殊紙設定の「OHP」を選択してください。⇒使用説明書「コピー機能 基本編」「OHPフィルム、厚紙にコピーする」
- ❒ OHPフィルムに合紙用紙を入れるときは、コピー枚数は「1」以外指定できません。

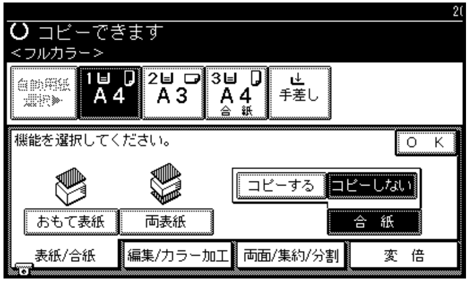
1 [表紙/合紙] を押します。



2 [合紙] を押します。



3 合紙に [コピーする] か [コピーしない] かを選択します。



4 [OK] を押します。

5 本文用の用紙がセットされているトレイを選択します。

OHPフィルムを使用するときは手差しトレイを開けてください。

6 原稿をセットし、【スタート】キーを押します。

ドキュメントボックスに原稿を蓄積する

この機能を利用するためには、拡張 HDD(40GB) が必要です。

コピー機能で読み取った文書を本機の拡張 HDD(40GB) に蓄積しておき、あとから印刷することができます。

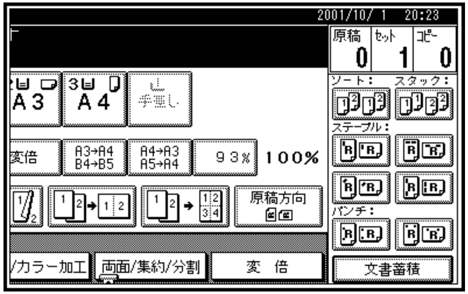
参照

詳細は使用説明書「システム設定編2 スキャナーユニット タイプ 8100 対応版」「ドキュメントボックスの操作」を参照してください。

補足

- ❒ 文書蓄積後しばらくの間は、蓄積した文書のユーザー名や文書名などを変更できない場合があります。
- ❒ カラー印刷中にカラー原稿の読み取りを行おうとした場合、スキャナーの動作開始とランプ点灯のタイミングが実際より大きくずれることがあります。

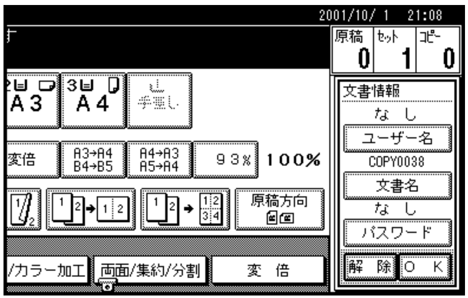
1 ［文書蓄積］を押します。



2 必要に応じてユーザー名、文書名、パスワードを設定します。

補足

- ❒ ユーザー名や、文書名、パスワードを設定しないときは手順 **3** に進みます。
- ❒ 文書名を変更しないときは、自動的に付けられた文書名が設定されます。



参照

パスワードの設定については、使用説明書「システム設定編2　スキャナーユニット　タイプ8100対応版」「パスワードを設定／変更するとき」を参照してください。

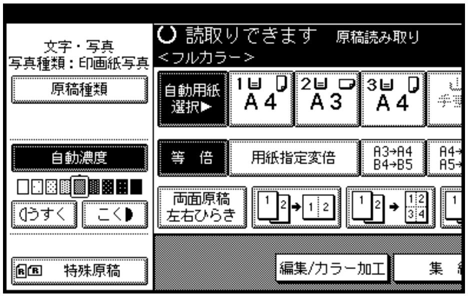
3 [OK] を押します。

4 原稿をセットします。

参照

セットできる原稿の種類や原稿のセット方法については、使用説明書「コピー機能 基本編」「原稿のセット」を参照してください。

5 原稿の読み取り条件を設定します。



参照

設定について詳しくは各機能を参照してください。

6【スタート】キーを押します。

原稿が読み取られます。

補足

- 読み取りを中断するときは**【クリア／ストップ】**キーを押します。表示された確認画面で [継続] を押すと読み取りが再開され、[中止] を押すと読み取り済みの画像が消去されて自動原稿送り装置(ADF)の原稿は排出されます。
- 文書が蓄積されたかどうかの確認は、**【ドキュメントボックス】**キーを押して、文書選択画面を表示させます。
- ドキュメントボックスに蓄積された文書は、一定日数経過後に自動的に消去するかどうか設定できます。工場出荷時には「3日」経過後に消去するよう設定されています。設定を変更するときは、システム設定編2スキャナーユニット　タイプ8100対応版「管理者用設定」の「蓄積文書自動消去設定」を参照してください。

プログラム

よく使うコピー操作は、設定した内容を記憶させることによって繰り返し使うことができます。

プログラム機能には次の種類があります。

❖ **プログラム登録**
繰り返し使いたい内容を登録します。

❖ **プログラム消去**
登録したプログラムを消去します。

❖ **プログラム呼び出し**
登録したプログラムを呼び出します。

❖ **プログラム名称変更**
登録したプログラムをの名称を変更します。

補足

❒ プログラムは10件まで登録できます。

❒ 電源を入れた直後、オートクリアされたときやリセットしたときに、設定されるモードが、通常かプログラムNo.10に登録されているものかを設定することができます。⇒ P.100「標準モード切り替え」

❒ 用紙はサイズでプログラム登録されるため、同じサイズの用紙がセットされているときは、コピー初期設定で優先設定したトレイから順に選択されます。⇒使用説明書「システム設定編2 スキャナーユニット　タイプ 8100 対応版」「給紙トレイ優先設定（コピー／ドキュメントボックス機能のみ）」

❒ 消去またはあらたに登録しない限り、電源を切ったり、【リセット】キーを押しても登録した内容は取り消されません。

プログラム登録／変更

1 登録する内容を設定します。

2 【プログラム】キーを押します。

プログラム画面が表示されます。



ZFNS013J

3 ［登録］を押します。



4 登録するプログラムNo.を押します。



補足

❒ ◈が表示されているNo.には、すでにプログラムが登録されています。

参照

「すでにプログラムが登録されているとき（変更）」⇒ P.46

5 プログラム名を入力します。

プログラム名は全角20文字、半角40文字まで入力できます。



参照

文字の入力のしかたは、使用説明書「システム設定編2　スキャナーユニット　タイプ8100対応版」「文字の入力方法」を参照してください。

補足

❒ プログラム名を付けないときは手順 **6** へ進みます。

6 ［OK］を押します。

プログラム画面に戻り、登録したプログラムNo.の前には◈が、後ろにはプログラム名が表示されます。しばらくするとコピー画面に戻ります。

すでにプログラムが登録されているとき（変更）

1 登録されている内容を確認します。

補足

❒ 登録されている内容を確認するときはプログラムを呼び出します。⇒ P.47 「プログラム呼び出し」

2 プログラムの登録手順 1〜4 を行います。

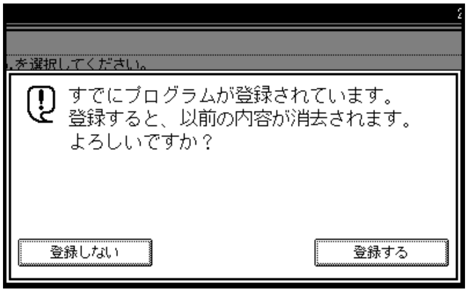
確認画面が表示されます。

上書きするとき

重要

❒ 上書きをしたとき、登録されていたプログラムは消去されます。

❶ ［登録する］を押します。



❷ プログラムの登録手順 5、6 を行います。

上書きをしないとき

❶ ［登録しない］を押します。

プログラム画面に戻ります。

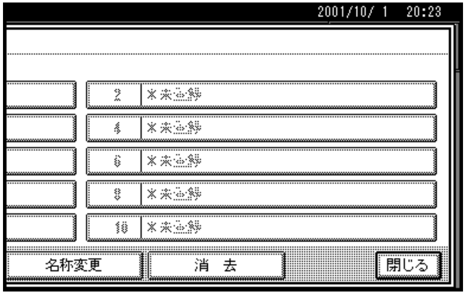
プログラム消去

1 【プログラム】キーを押します。

プログラム画面が表示されます。

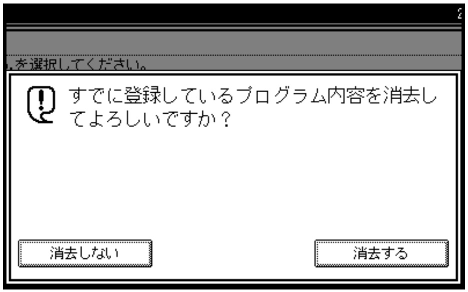


2 [消去] を押します。



3 消去するプログラムNo.を押します。

プログラム消去の確認画面が表示されます。



4 [消去する] を押します。

プログラムが消去されて、コピー画面に戻ります。

補足

- ❒ 消去をやめるときは [消去しない] を押します。

プログラム呼び出し

1 【プログラム】キーを押します。

プログラム画面が表示されます。



ZFNS013J

2 呼び出すプログラムNo.を押します。

登録されているプログラムが呼び出され、内容が表示されます。

補足

- ❒ ⇨が表示されていないNo.にはプログラムは登録されていません。

3 原稿をセットし、【スタート】キーを押します。

プログラム名称変更

1 【プログラム】キーを押します。

プログラム画面が表示されます。



ZFNS013J

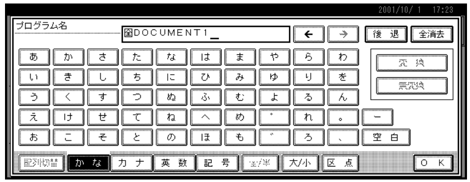
2 [名称変更]を押します。



3 名称を変更するプログラムNo.を押します。

4 プログラム名を変更します。

プログラム名は全角20文字、半角40文字まで入力できます。



参照

文字の入力のしかたは、使用説明書「システム設定編2　スキャナーユニット　タイプ8100対応版」「文字の入力方法」を参照してください。

5 [OK]を押します。

プログラム画面に戻り、変更したプログラムプログラム名が表示されます。しばらくするとコピー画面に戻ります。

カラー登録

イエロー、マゼンタ、シアン、ブラックの濃度を調整して作った色が登録できます。色の作成方法には次の種類があります。

- 選択した基本色の濃度をもとに各色の濃度を調整する。
- 各色の濃度をテンキーで直接指定する。

制限

❒ 登録する色は、イエロー、マゼンタ、シアン、ブラックの合計が 255%以下になるように調整してください。

❒ 登録する色の濃度の合計が 256%以上のときは、255%に補正されます。

補足

❒ 登録色でコピーするときは、そのときの機械の状態によって微妙に色合いが異なります。

❒ 登録色でコピーするとき、カラー感光体および現像剤はフルカラーコピー時と同様に全色消耗します。ただし、トナーは登録色の成分のみ消耗します。

❒ 原稿の再現性をよくするため、入力した数値が機械内部で修正され、最適な数値でコピーされることがあります。このため、「文字」でコピーしたときと「写真」でコピーしたときでは多少色が異なる場合があります。

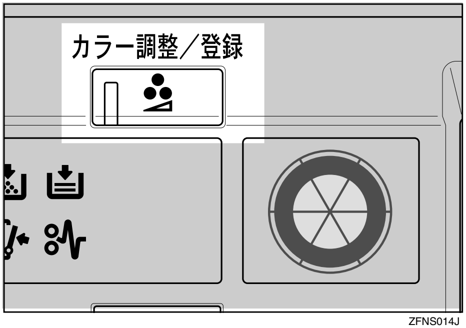
❒ 15色まで登録できます。

❒ 登録されている色をA4▯1枚、またはA3▭1枚にサンプル出力できます。

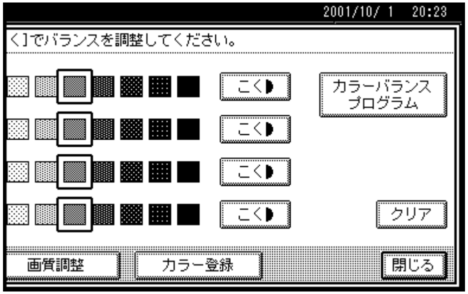
❒ サンプル一覧を出力するとフルカラーのカウンターが「1」進みます。

1 【カラー調整／登録】キーを押します。

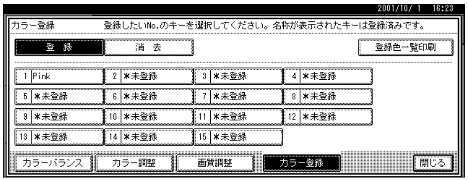
キーのランプが点灯します。



2 [カラー登録] を押します。



3 登録したい登録色の番号（[1未登録] ～ [15未登録]）を選択します。

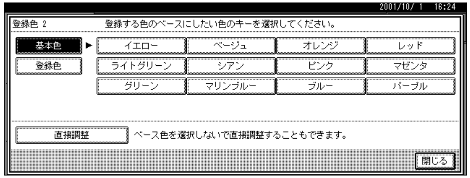


補足

❒ 実線になっている登録色キーを選択すると登録内容を変更（上書き）することになります。

4 登録するベースとなる色を、基本色、登録色から選択します。

選択した色の各色の濃度が表示されます。



補足

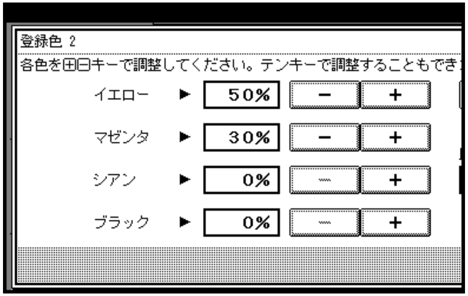
❒ 各色の濃度をテンキーで直接指定するときは、[直接調整] を押します。⇒ P.52「各色の濃度を直接テンキーで指定して色を作る」

❒ 「登録色」を選択したときは、登録されている色からさらに色を選択します。

5 濃度を指定します。

[+][−]で指定するとき

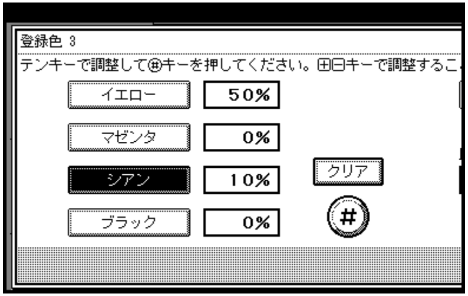
❶ [+][−]で濃度(%)を指定します。



[テンキーで調整]で指定するとき

❶ [テンキーで調整]を押します。

❷ 各色を選び、テンキーで濃度(%)を入力し、[#]を押します。



補足

- ❒ [+][−]で指定したいときは、[[+][−]キーで調整]を押します。
- ❒ 間違えたときは、[クリア]または【クリア/ストップ】キーを押し、入力し直します。
- ❒ 複数の色の濃度を指定するときは、手順❷を繰り返します。

6 各色の名前と濃度を確認後、[OK]を押します。

補足

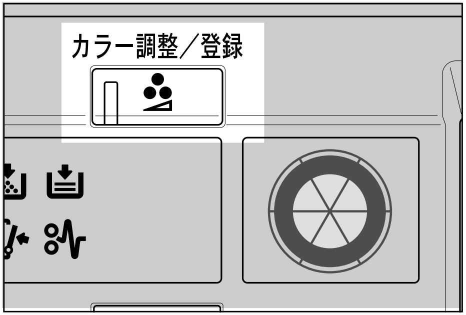
- ❒ 色名をつけ直すときは、[名称変更]を押して色名(全角8文字、半角16文字以内)を入力します。色名を確認したら、[OK]を押します。⇒使用説明書「システム設定編2　スキャナーユニット　タイプ 8100 対応版」「文字の入力方法」

7 [閉じる]を押します。

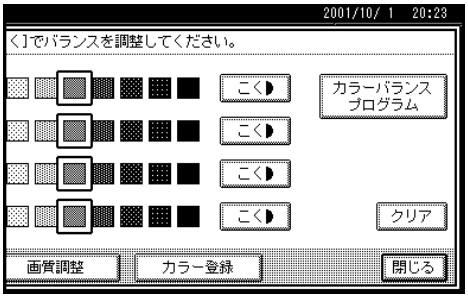
各色の濃度を直接テンキーで指定して色を作る

1 【カラー調整／登録】キーを押します。

キーのランプが点灯します。



2 ［カラー登録］を押します。

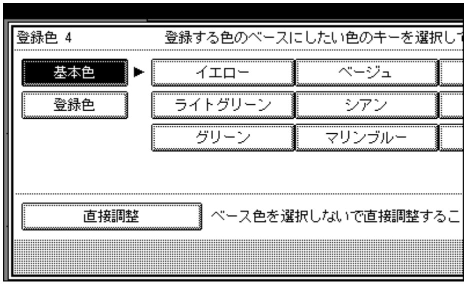


3 登録したい登録色の番号（［1未登録］～［15未登録］）を選択します。

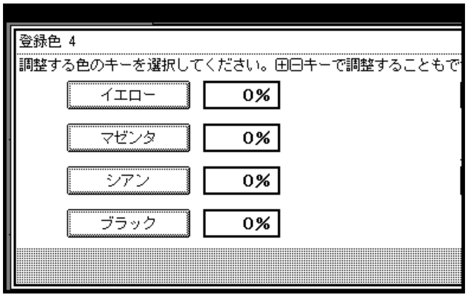
補足

❒ 実線になっている登録色キーを選択すると登録内容を変更（上書き）することになります。

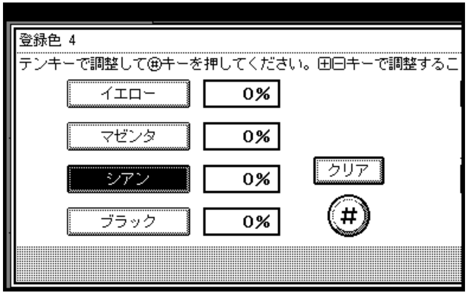
4 ［直接調整］を押します。



5 濃度を指定する色を選択します。



6 テンキーで濃度（%）を入力します。各色を設定したら、[#] を押します。



補足

- ❒ [+] [−] で指定したいときは、[[+] [−] キーで調整] を押します。
- ❒ 間違えたときは、[クリア] または【クリア／ストップ】キーを押し、入力し直します。

7 各色の濃度と色の名前を確認後、[OK] を押します。

補足

- ❒ 色名をつけ直すときは、[名称変更] を押して色名（全角8文字、半角16文字以内）を入力します。色名を確認したら、[OK] を押します。⇒使用説明書「システム設定編2　スキャナーユニット　タイプ 8100 対応版」「文字の入力方法」
- ❒ 複数の色の濃度を指定するときは、手順**5**〜**6**を繰り返します。

8 [閉じる] を押します。

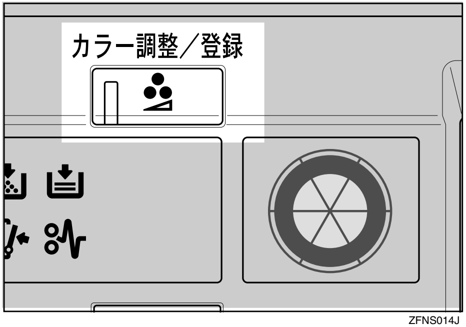
登録した色を消す

制限

- ❒ プログラム登録されている登録色や使用中の登録色は消去できません。

1 【カラー調整／登録】キーを押します。

キーのランプが点灯します。

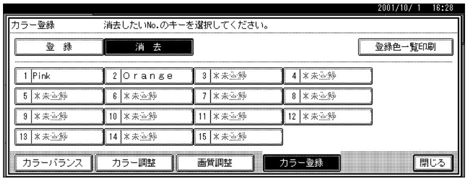


2 [カラー登録] を押します。

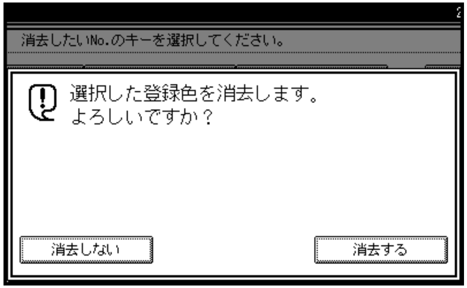
3 [消去] を押します。



4 消去したい登録色の番号（実線になっている登録色キー）を選択します。



5 [消去する] を押します。



補足

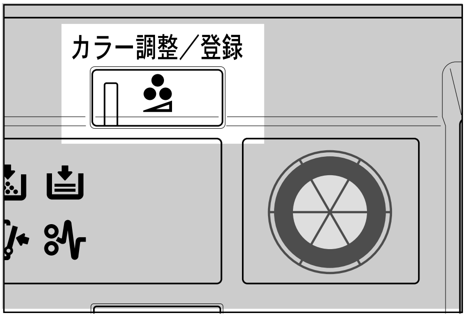
- 消去しないときは、[消去しない] を押します。

6 [閉じる] を押します。

登録色のサンプル一覧出力

1 【カラー調整／登録】キーを押します。

キーのランプが点灯します。

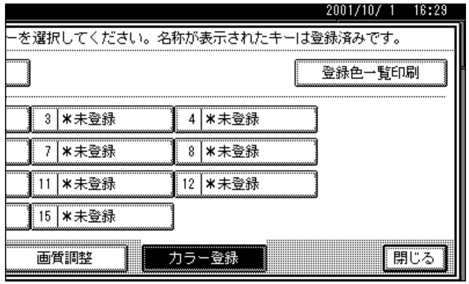


ZFNS014J

2 ［カラー登録］を押します。

3 用紙を確認し、［登録色一覧印刷］を押します。

サンプル一覧が出力されます。



補足

- ❒ サンプルは、A4▯1枚、A3▭1枚、Letter(8 1/2×11)▯1枚または11×17▭1枚で出力されます。給紙トレイにセットされている用紙サイズを確認してください。

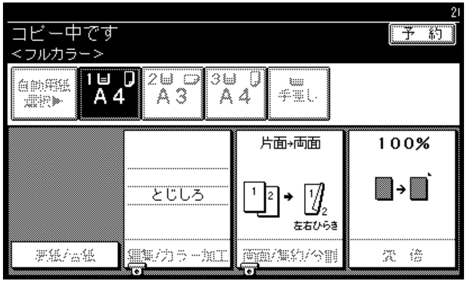
予約コピー

コピー中に次のコピー内容を1件設定しておくことができます。コピー終了後、自動的にコピーが始まります。

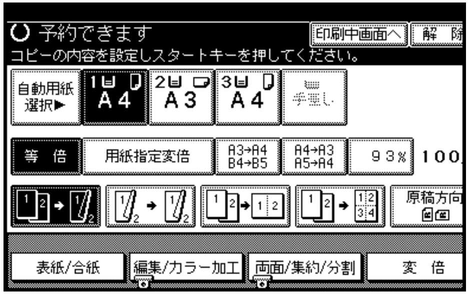
補足

- ❒ 自動原稿送り装置（ADF)に原稿をセットして予約をしたとき、原稿を抜くと予約は解除されます。
- ❒ 予約中に紙づまりが発生すると予約は解除されます。

1 “コピー中です”が表示されている間に［予約］を押します。



2 “ 予約できます ” と表示されているのを確認し、予約するコピーの内容を設定します。



補足

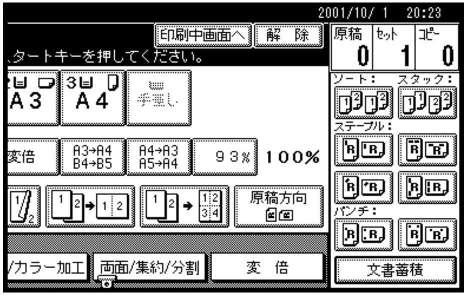
- ❒ 設定中に予約を取り消すときは［解除］を押します。

3 原稿をセットし、【スタート】キーを押します。

4 **［印刷中画面へ］を押します。**

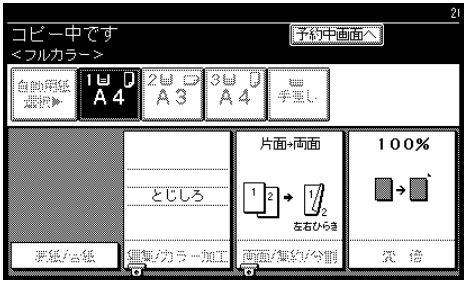
コピー画面に戻ります。

コピー終了後、自動的にセットした原稿が読み取られ予約したコピーが始まります。



補足

❒ ［印刷中画面へ］を押すと先に設定されたコピーの画面へ、また［予約中画面へ］を押すと後から予約したコピーの画面に移ります。



その他の機能

予熱

電源を入れた状態で一定時間コピーを使わなかったり、【予熱】キーを押すと表示が消えて予熱状態になり、節電ができます。もう一度【予熱】キーを押すと予熱を解除できます。

補足

- ❒ 数値、機能を設定している途中で【予熱】キーを押すと、それまで設定したすべての内容が取り消されます。
- ❒ 予熱状態からコピーできる状態になるまでは約 3 秒かかります。
- ❒「予熱機能」への移行時間はシステム初期設定で変更できます。⇒使用説明書「システム設定編2 スキャナーユニット タイプ 8100 対応版」「予熱移行時間設定」

オートスタート

コピーできる状態になったときに自動的にコピーが始まります。

1. 「おまちください」が表示されている間にコピー内容を設定します。
2. 原稿をセットします。
3. 【スタート】キーを押します。

   「スタート」のランプが点滅します。

   補足

   - ❒ 解除するときは【クリア／ストップ】キーを押します。

割り込みコピー

コピー中に割り込んで別の原稿をコピーします。

制限

- ❒ ファクス原稿の読み取り中、スキャナーの読み取り中は割り込みコピーはできません。

補足

- ❒ 割り込む前のコピー動作が、原稿の搬送／読み取り途中の「原稿の搬送中」状態なのか、原稿搬送が終わって、コピーだけしている「原稿搬送後のコピー中」状態なのかで、割り込みコピーの操作が異なります。

自動原稿送り装置 (ADF) で原稿の送り途中に割り込むとき

1 【割り込み】キーを押します。

キーのランプが点灯し、原稿の新たな給紙が止まります。



2 コピー中の原稿を取り除いて、割り込みコピーする原稿をセットします。

3 【スタート】キーを押します。

割り込みコピーがスタートします。

4 コピー終了後、割り込みコピーの原稿と排出されたコピーを取り除きます。

5 もう一度【割り込み】キーを押します。

キーのランプが消灯します。

6 割り込む前に残っていた原稿をセットし直します。

補足

- 「原稿を○枚戻してください」の表示どおりに、読み終わった原稿を戻してからセットします。

7 【スタート】キーを押します。

割り込む前のコピーを再開します。

補足

- 割り込む前の設定はそのまま残っているので、割り込みコピー終了後は **【スタート】** キーを押すだけでコピーを再開します。

自動原稿送り装置 (ADF) で原稿の送り後のコピー中または原稿ガラスでのコピー中に割り込むとき

1 【割り込み】キーを押します。

キーのランプが点灯します。



ZFNS013J

補足

- このとき割り込む前のコピーは止まりません。

2 割り込みコピーする原稿をセットします。

3 【スタート】キーを押します。

割り込む前のコピーが止まり、割り込みコピーがスタートします。

4 コピー終了後、割り込みコピーの原稿と排出されたコピーを取り除きます。

5 もう一度【割り込み】キーを押します。

キーのランプが消灯します。割り込みコピーが解除され、割り込む前のコピーが再開します。

試しコピー

この機能を利用するためには、拡張 HDD(40GB) が必要です。

複数部数コピーするとき、最初の1部のコピーで仕上がりを確認することができます。

制限

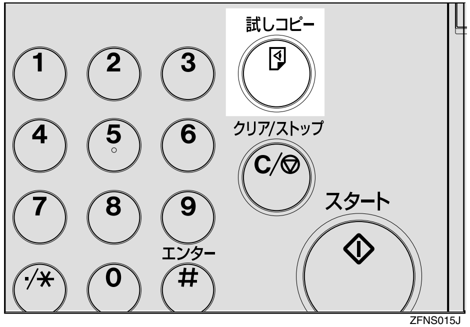
- ❒ ソート機能を設定しているときだけ使用できる機能です。
- ❒ 手差しコピーのときは、試しコピーは使用できません。

1 ソート機能と使用する各機能を設定し、コピーする部数を入力します。

2 原稿をセットします。

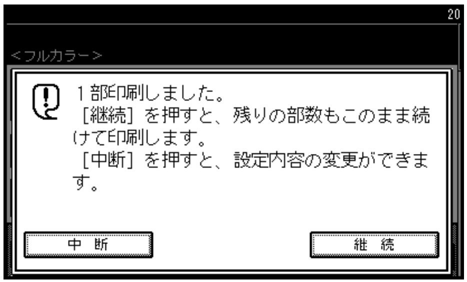
3 【試しコピー】キーを押します。

試しコピー分1部が排出されます。



4 仕上がりを確認後、よければ[継続]を押します。

試しコピー分1部を引いた部数がコピーされます。



補足

- 仕上がり確認後、[中断] を押すと手順 1 に戻ります。ステープル、パンチ、両面（両面→片面、片面→両面）、ひらき方向、とじしろ、表紙の再設定ができます。ただし、機能の組み合わせによっては再設定できないことがあります。
- [スタート] または [試しコピー] を押すと、試しコピー分1部を引かない部数がコピーされます。

機能組み合わせ一覧

○ 組み合わせ可

× 組み合わせ不可（先に設定した機能が優先）

● 組み合わせ不可（後に設定した機能が優先）

機能の組み合わせは次のとおりです。

先に設定した機能：機能名 ＼ 後にセットする機能：機能名	サイズ混載機能	不定形原稿	原稿方向	自動濃度	濃度調整	フルカラーコピー	2色コピー	2色コピー（黒・赤）	単色コピー	自動用紙選択	用紙選択	手差しコピー	用紙指定変倍	変倍	すこし小さめ	見開き→片面	両面→片面	両面	集約	左右ページ両面	表裏ページ両面	ダブルコピー	原稿全体リピート	範囲指定リピート	とじしろ	センタリング	センター消去	枠消去	指定色消去	表紙	合紙	ソート	回転ソート	スタック	ステープル	パンチ	ドキュメントボックス
サイズ混載機能		×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
不定形原稿	×		○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
原稿方向	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
自動濃度	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
濃度調整	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
フルカラーコピー	○	○	○	○	○		●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2色コピー	○	○	○	○	○	●		●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
2色コピー（黒・赤）	○	○	○	○	○	●	●		●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
単色コピー	○	○	○	○	○	●	●	●		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
自動用紙選択	○	●	○	○	○	○	○	○	○		●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○
用紙選択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●		●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
手差しコピー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●		×	○	×	○	○	×	×	×	×	×	*2	*2	*3	×	*2	*2	○	×	○	○	×	○	×	×	×
用紙指定変倍	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	×		●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
変倍	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
すこし小さめ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
見開き→片面	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
両面→片面	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*1	○	○	○	○	○	○	○
両面	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○		●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
集約	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	●		●	●	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○

*1 「両面→片面」の時は表紙との組み合わせ不可

*2 横305mm以上の用紙または面積297×432mm以上の用紙を手差しトレイにセットしたとき、組み合わせ不可

*3 横305mm以上の用紙を手差しトレイにセットしたとき、組み合わせ不可

先に設定した機能＼後にセットする機能	サイズ混載機能	不定形原稿	原稿方向	自動濃度	濃度調整	フルカラーコピー	2色コピー	2色コピー（黒・赤）	単色コピー	自動用紙選択	用紙選択	手差しコピー	用紙指定変倍	変倍	すこし小さめ	見開き→片面	両面→片面	両面	集約	左右ページ両面	表裏ページ両面	ダブルコピー	原稿全体リピート	範囲指定リピート	とじしろ	センタリング	センター消去	枠消去	指定色消去	表紙	合紙	ソート	回転ソート	スタック	ステープル	パンチ	ドキュメントボックス
左右ページ両面	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	●	●		●	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
表裏ページ両面	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	●	●	●		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×
ダブルコピー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○		●	●	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×
原稿全体リピート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	*2	×	○	○	○	○	○	×	○	○	●		●	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×
範囲指定リピート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	*2	×	○	×	○	○	○	×	○	○	●	●		×	×	×	×	○	×	×	○	○	○	○	○	×
とじしろ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
センタリング	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
センター消去	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
枠消去	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
指定色消去	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
表紙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	×	*1	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○		●	○	×	○	○	○	○
合紙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	●		×	×	○	○	○	○
ソート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		○	○	○	○	○
回転ソート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○		●	●	×	○
スタック	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●		○	○	○
ステープル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○		*4	○
パンチ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	*4		○
ドキュメントボックス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

*1 「両面→片面」の時は表紙との組み合わせ不可

*2 横305mm以上の用紙または面積297×432mm以上の用紙を手差しトレイにセットしたとき、組み合わせ不可

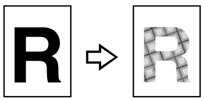
*3 横305mm以上の用紙を手差しトレイにセットしたとき、組み合わせ不可

*4 「ステープル上2箇所」と「パンチ左」の組み合わせ不可
「ステープル1箇所」と「パンチ上」の組み合わせ不可

コピーがきれいにとれないとき

状態	原因	対処方法
地肌が汚れている。	コピー濃度が濃く設定されています。	コピー濃度を調整してください。 ⇒使用説明書「コピー機能 基本編」「コピー濃度調整」
	自動濃度が選択されていません。	自動濃度を選択してください。 ⇒使用説明書「コピー機能 基本編」「コピー濃度調整」
原稿の裏面が透けてコピーされる。	コピー濃度が濃く設定されています。	コピー濃度を調整してください。 ⇒使用説明書「コピー機能 基本編」「コピー濃度調整」
	自動濃度が選択されていません。	自動濃度を選択してください。 ⇒使用説明書「コピー機能 基本編」「コピー濃度調整」
はり合わせた部分に影が付く。	コピー濃度が濃く設定されています。	コピー濃度を調整してください。 ⇒使用説明書「コピー機能 基本編」「コピー濃度調整」 原稿のセット方向を変えてください。 はり合わせた部分にメンディングテープを使用してください。

状態	原因	対処方法
原稿にないものがコピーされる。	原稿ガラスまたは自動原稿送り装置(ADF)が汚れています。	原稿ガラスまたは自動原稿送り装置(ADF)を清掃してください。 ⇒使用説明書「保守・運用編 スキャナーユニット　タイプ8100対応版」「原稿ガラスを清掃する」、「自動原稿送り装置(ADF)ご使用の場合」
かすれてコピーされる。	コピー濃度が薄く設定されています。	コピー濃度を調整してください。 ⇒使用説明書「コピー機能 基本編」「コピー濃度調整」
	適切な用紙がセットされていません。	当社推奨の用紙に替えてください。 ⇒使用説明書「保守・運用編 スキャナーユニット　タイプ8100対応版」「使用できる用紙」 **補足** ❒ 目の粗い用紙や表面が加工されている用紙、湿気を含んだ用紙にコピーするとかすれてコピーされることがあります。
	トナーが少なくなっています。	早めにトナーを交換してください。 ⇒使用説明書「保守・運用編 スキャナーユニット　タイプ8100対応版」「トナーを補給する」

状態	原因	対処方法
コピー画像が欠ける。	原稿のセット位置が間違っています。	原稿を正しくセットしてください。 ⇒使用説明書「コピー機能　基本編」「原稿のセット」
	適切なサイズの用紙が選択されていません。	適切なサイズの用紙を選択し直してください。
コピーされない。	原稿のセット面が間違っています。	原稿ガラスにセットするときはコピーする面を下に、自動原稿送り装置(ADF)にセットするときはコピーする面を上にします。 ⇒使用説明書「コピー機能　基本編」「原稿ガラスへのセット」
モアレが発生している。 	モアレは画像を処理するときに規則正しく配列された網点、または線が重なりあって発生します。	原稿のセット方向をかえるとモアレを防げることがあります。

コピーが始められないとき

メッセージが表示されたとき

おもなメッセージについて説明します。その他のメッセージが表示されたときは、メッセージに従って対処してください。

メッセージ	状態・原因	対処方法
原稿サイズがわかりません。	サイズを読み取りにくい原稿がセットされています。⇒ P.127「サイズを読み取りにくい原稿」	サイズを読み取りにくい原稿のとき、用紙の選択は「自動用紙選択」を使わず［用紙選択］で、拡大／縮小コピーは「用紙指定変倍」以外の方法で行ってください。
		原稿ガラスにセットし直してください。⇒使用説明書「コピー機能 基本編」「原稿ガラスへのセット」
	原稿がセットされていません。	原稿をセットしてください。
原稿の方向を確認してください。	原稿の方向が適切ではありません。	原稿の向きを変えてください。
コピー枚数は□□枚までです。	コピー枚数の上限を越えています。	一度にコピーする枚数の上限を変更することができます。⇒ P.100「コピーセット枚数制限設定」
用紙サイズを確認してください。	適切な用紙がありません。	【スタート】キーを押すと選択されている用紙にコピーされます。
この用紙サイズは回転ソートできません。	回転ソートできない用紙を選択しています。	回転ソート可能サイズの用紙を選択してください。⇒使用説明書「コピー機能 基本編」「ソート」

メッセージ	状態・原因	対処方法
この用紙サイズはパンチできません。	パンチできない用紙を選択しています。	パンチできる用紙はA3▭、B4▭、A4▯▭、B5▯▭、A5▯▭、11×17▭、Legal($8^{1}/_{2}$×14)▭、Letter($8^{1}/_{2}$×11)▯▭です。このサイズを選択してください。
ステープル可能枚数を超えました。	ステープルできる枚数の上限を超えています。	ステープル可能枚数内でコピーし直してください。⇒使用説明書「コピー機能 基本編」「ステープル」
この用紙サイズはステープルできません。	ステープルできない用紙を選択しています。	ステープル可能サイズの用紙を選択してください。⇒使用説明書「コピー機能 基本編」「ステープル」
この用紙サイズは両面コピーできません。	両面コピーできない用紙を選択しています。	両面コピーできるサイズはA3▭、B4▭、A4▯▭、B5▯▭、A5▯です。このサイズの用紙を選択してください。

思いどおりにコピーされないとき

思いどおりのコピー結果が得られないときの原因と対処方法を説明します。

基本機能

状態	原因	対処方法
ステープルされない。	ステープラーの針がつまっています。	つまっている針を取り除いてください。 ⇒使用説明書「保守・運用編 スキャナーユニット　タイプ8100対応版」「ステープラーの針がつまったとき」 **補足** ❒ 針づまりの処理後、フィニッシャーが針シートの位置合わせをする間はステープルされず、空打ちされます。
	ステープルできる枚数を超えています。	ステープル可能枚数内でコピーし直してください。 ⇒使用説明書「コピー機能 基本編」「ステープル」
	紙がカールしています。	用紙を裏返してセットしてください。

状態	原因	対処方法
ステープルの位置が違う。	原稿のセット方向と選択したステープルの位置が合っていません。	原稿の上部を奥側のセット基準に合わせてセットしてください。 ⇒使用説明書「コピー機能 基本編」「ステープル」
たびたび紙がつまる。	用紙サイズの設定が間違っています。	用紙サイズを設定してください。 ⇒使用説明書「システム設定編2 スキャナーユニット　タイプ8100対応版」「用紙サイズ設定：トレイ1〜4」
複数の機能を設定したとき、設定されない機能がある。	組み合わせることのできない機能を設定しています。	機能の組み合わせを確認し、設定し直してください。
ページが分割されてソートされる。	途中でメモリーがいっぱいになり、分割して排出しました。	メモリーがいっぱいになった時点でコピーを中断するようにできます。⇒使用説明書「コピー機能　基本編」「ステープル」
他の機能でスキャナー使用中のため、コピーできません。	ドキュメントボックス機能での操作が終了していません。	ドキュメントボックス機能での操作を終了させてからコピーしてください。［確認］　を押したあと、**【ドキュメントボックス】**　キーを押して、ドキュメントボックスの画面を表示させます。**【クリア/ストップ】**　キーを押し、「ストップキーが押されました。読みとりを中止しますか？」と表示されたら［中止］　を押してください。

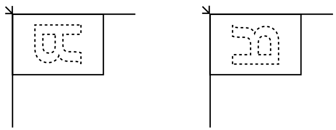
編集

状態	原因	対処方法
ダブルコピーしたとき、画像が欠ける。	原稿と用紙サイズの組み合わせが間違っています。	A4の原稿はA3、A5の原稿はA4の用紙、B6の原稿はB5の用紙にコピーしてください（等倍のとき）。
消去（枠/センター /センター・枠）したとき、画像が欠ける。	消去幅の値を大きく設定しています。	消去幅の値を小さく設定し直してください。2〜99mmの範囲で設定できます。⇒ P.112 「枠消去幅設定」、P.112 「センター消去幅」
	原稿サイズが正しく読み取られていません。	正しく原稿をセットしてください。
とじしろで画像が欠ける。	とじしろ幅の値を大きく設定しています。	とじしろ幅の値を小さく設定し直してください。0〜30mmの範囲で設定できます。⇒ P.111 「上下とじしろ幅設定（おもて面）」、P.110 「左右とじしろ幅設定（おもて面）」、P.110 「左右とじしろ幅設定（うら面）」、P.111 「上下とじしろ幅設定（うら面）」
	原稿のとじ位置の反対側の余白が不足しています。	
リピートされない。	原稿と同じサイズの用紙を選択しているか、変倍率を設定していません。	原稿より大きいサイズの用紙を選択してください。
		変倍率を設定してください。

集約

状態	原因	対処方法
画像が欠ける、または余白ができる。	原稿サイズと拡大／縮小率と用紙の組み合わせが間違っています。	用紙指定変倍すると原稿とコピーする用紙にあった倍率でコピーします。 **補足** ❒ 変倍率を選択してから集約を設定し、コピーすることもできます。
	ステープル、パンチと組み合わせたときに余白がでることがあります。	用紙の向きを変えてください。原稿の向きを変えても、余白を無くすことができますが、思ったとおりの位置にステープル、パンチされないことがあります。
順番どおりにコピーされない。	原稿をセットする順番が間違っています。	自動原稿送り装置(ADF)にセットするとき、原稿の先頭ページが一番上になるようにセットしてください。 原稿ガラスにセットするとき、原稿は先頭ページから順にセットしてください。

両面

状態	原因	対処方法
順番どおりにコピーされない。	原稿をセットする順番が間違っています。	自動原稿送り装置(ADF)にセットするとき、原稿の先頭ページが一番上になるようにセットしてください。 原稿ガラスにセットするとき、原稿は先頭ページから順にセットしてください。
「左右ひらき」を選択したのに上下開きでコピーされる。または「上下ひらき」を選択したのに左右開きでコピーされる。	原稿のセット方向が間違っています。	原稿の上部を奥側のスケールに合わせてセットしてください。⇒使用説明書「コピー機能　基本編」「原稿のセット」 **補足** ❒ A3、B4などの原稿を次のようにセットしたときは、次のどちらかの操作をしてください。  「左右ひらき」にしたいときは［上下ひらき］を、「上下ひらき」にしたいときは［左右ひらき］を選択する。

メモリーがいっぱいになったとき

制限

❒ メモリーがいっぱいになったときは割り込みコピーできません。

補足

❒「ソート全数読み取り設定」（コピー初期設定）（⇒ P.118）が「する」に設定されているときは、メッセージは表示されず、メモリーがいっぱいになったときも自動的に読み取ったページまでコピーを排出させ、継続して残った原稿を読み取りコピーを仕上げます。ただし、ページ順が別れて仕上がります。

メッセージ	原因	対処方法
メモリーが一杯になりました。##ページ目まで読み取りました。［出力］を押すと読み取った原稿をコピーします。残った原稿はそのままにしてください。 ［メモリークリア］［出力］ **補足** ❒ メモリーがいっぱいになった時点でコピーが中断され、このメッセージが画面に表示されます。	読み取られた原稿がメモリーに蓄積できる枚数を超えました。	• 読み取ったページまでのコピーを排出させるとき 　• ［出力］を押します。読み取ったページまでコピーが排出され、メモリー内の画像はクリアされます。 • 読み取った原稿の画像をクリアし、コピーを中止するとき 　• ［メモリークリア］を押します。
残った原稿のコピーを再開します。［継続］を押してください。 ［中止］［継続］	読み取ったページまでのコピーが排出されたので、残りの原稿のコピーを継続するか確認されました。	• 残りの原稿の読み込みを再開するとき 　• 必ずコピーを取り除いてから、［継続］を押します。 • 残りの原稿の読み込みを中止するとき 　• ［中止］を押します。

❖ ドキュメントボックス

メッセージ	原因	対処方法
メモリーが一杯になりました。## ページ目まで読み取りました。	読み取られた原稿がメモリーに蓄積できる枚数を超えました。	不要になった文書を［文書消去］で消去してください。⇒使用説明書「システム設定編2 スキャナーユニット　タイプ8100対応版」「文書を消去する」

画質調整

画質調整には次の種類があります。

❖ **シャープ／ソフト**
画像の輪郭を調整します。

❖ **コントラスト**
画像の明暗を調整します。

❖ **地肌調整**
画像の地肌を調整します。

❖ **UCR調整**
ブラックトナーの量を調整し、画像のブラック部分を鮮明に表現します。

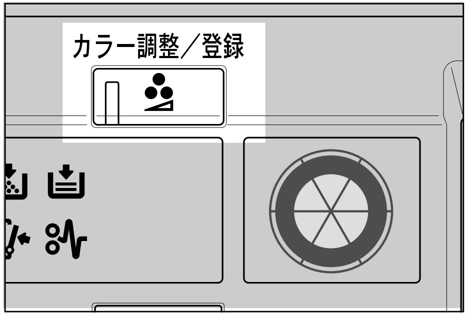
❖ **文字・写真判定調整**
「文字・写真」時、画像を文字部と写真部に判断する基準レベルを調整します。

補足

❒ 「シャープ／ソフト」「コントラスト」「地肌調整」はそれぞれに調整できますが、調整レベルや色合いなどによって他の調整機能のレベルに影響することがあります。

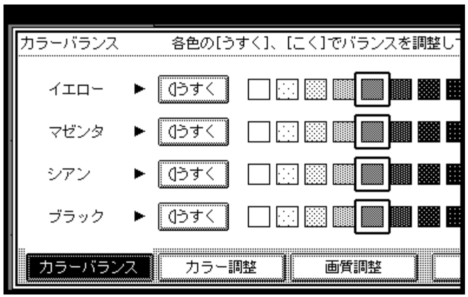
1 【カラー調整／登録】キーを押します。

キーのランプが点灯します。



ZFNS014J

2 ［画質調整］を押します。



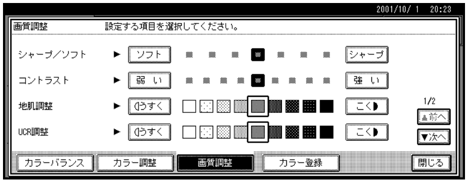
3 各機能を調整します。

参照

「シャープ／ソフトを調整する」⇒ P.78
「コントラストを調整する」⇒ P.78
「地肌調整をする」⇒ P.79
「UCR調整をする」⇒ P.79
「文字・写真判定調整をする」⇒ P.79

シャープ／ソフトを調整する

❶ ［ソフト］［シャープ］を押して調整します。



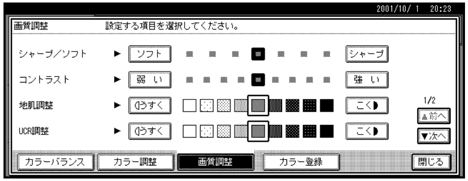
❷ ［閉じる］を押します。

補足

- 画質が調整されている状態のときは、**【カラー調整／登録】**キーのランプは点灯したままです。
- オートクリアされたとき、**【リセット】**キーを押したとき、電源を切ったときには、調整した内容は取り消され、初期設定値に戻ります。

コントラストを調整する

❶ ［弱い］［強い］を押して調整します。



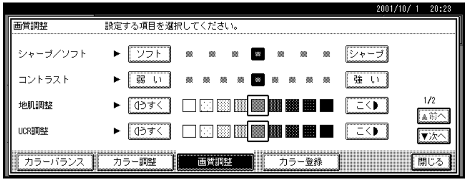
❷ ［閉じる］を押します。

補足

- 画質が調整されている状態のときは、**【カラー調整／登録】**キーのランプは点灯したままです。
- オートクリアされたとき、**【リセット】**キーを押したとき、電源を切ったときには、調整した内容は取り消され、初期設定値に戻ります。

地肌調整をする

❶ ［こく］［うすく］を押して調整します。



補足

- ❒ 新聞紙や再生紙など地肌の濃い原稿をコピーするときは、薄めに調整します。
- ❒ 蛍光ペン、マーカーペンの色を濃くするときは濃く調整します。ただし、蛍光ペンの色は再現しにくいため、違う色にコピーされたり、色によってはコピーされなかったりすることがあります。

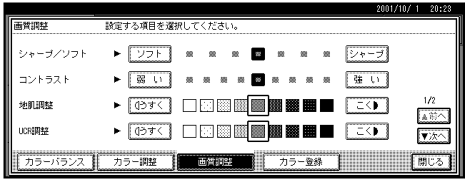
❷ ［閉じる］を押します。

補足

- ❒ 画質が調整されている状態のときは、**【カラー調整／登録】**キーのランプは点灯したままです。
- ❒ オートクリアされたとき、**【リセット】**キーを押したとき、電源を切ったときには、調整した内容は取り消され、初期設定値に戻ります。

UCR調整をする

❶ ［こく］［うすく］を押して調整します。



❷ ［閉じる］を押します。

補足

- ❒ 画質が調整されている状態のときは、**【カラー調整／登録】**キーのランプは点灯したままです。
- ❒ オートクリアされたとき、**【リセット】**キーを押したとき、電源を切ったときには、調整した内容は取り消され、初期設定値に戻ります。

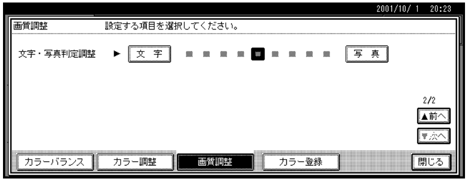
文字・写真判定調整をする

❶ ［次へ］を押します。

補足

- ❒ 元の画面に戻すときは［前へ］を押します。

❷［文字］［写真］を押して調整します。



補足

- ❒ 文字の部分がぼけていたり、くっきりと黒くなっていないときは「文字」よりに、濃度の変化が大きい写真をコピーすると輪郭が黒くなるときは「写真」よりに設定してください。

❸［閉じる］を押します。

補足

- ❒ 画質が調整されている状態のときは、【カラー調整／登録】キーのランプは点灯したままです。
- ❒ オートクリアされたとき、【リセット】キーを押したとき、電源を切ったときには、調整した内容は取り消され、初期設定値に戻ります。

自動階調補正

1【初期設定／カウンター】キーを押します。

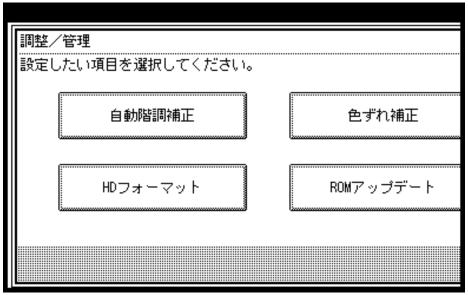


ZFNS016J

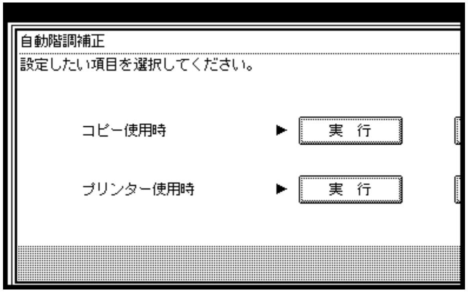
2［調整／管理］を押します。



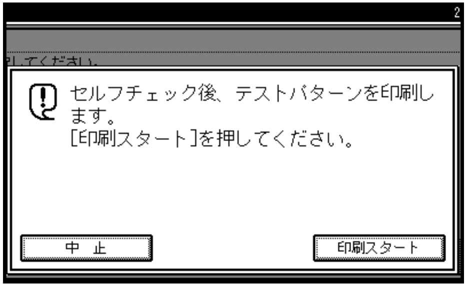
3 ［自動階調補正］を押します。



4 「コピー使用時」の［実行］を押します。



5 ［印刷スタート］を押し、テストパターンを出力します。

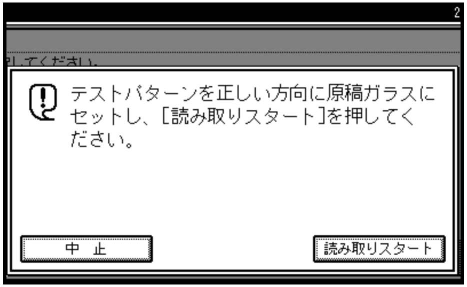


補足

- テストパターンは、A4、A3、Letter(8 1/2×11)、11×17に出力されます（A4がないときはA3またはB4に出力されます）。給紙トレイにセットされている用紙サイズを確認してください。
- 手差しトレイからの給紙はできません。
- テストパターンを出力してもカウンターは進みません。

6 **テストパターンをコンタクトガラスにセットし、［読み取りスタート］を押します。**

「しばらくお待ち下さい」が消えたら、画像が補正されます。

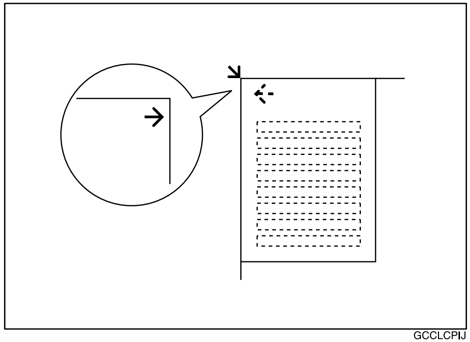


制限

- ❒ テストパターンは自動原稿送り装置（ADF）にセットしても読み取られません。

補足

- ❒ テストパターンは次のようにセットしてください。



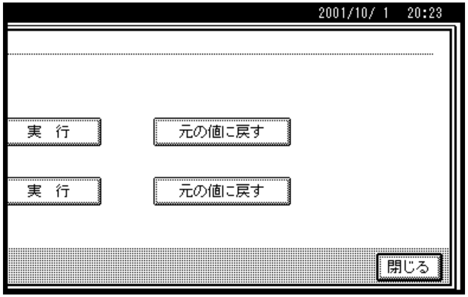
- ❒ 自動原稿送り装置（ADF）装着時は、テストパターンの上にテストパターンと同じサイズの白紙を2～3枚重ねてコンタクトガラスにセットしてください。

元の値に戻すとき

補足

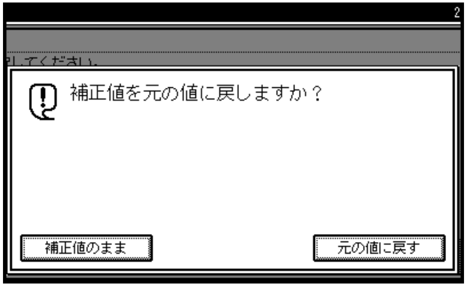
- ❒「元の値に戻す」とは実行前の状態に戻すことをいいます。

❶「自動階調補正（コピー使用時）」の［元の値に戻す］を押します。



❷［元の値に戻す］を押します。

設定値が元に戻ります。

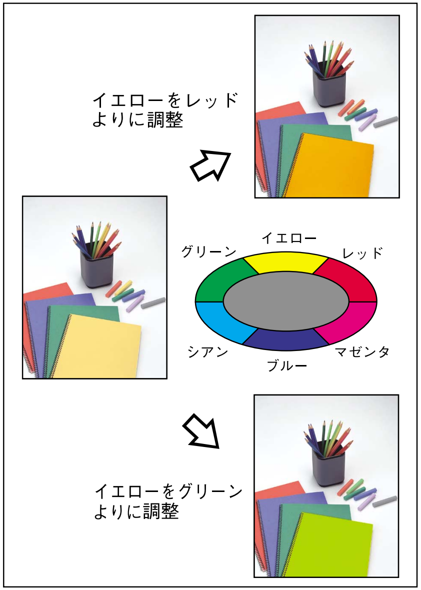


補足

- ❒ 元の値に戻さないときは、［補正値のまま］を押します。

カラー調整

特定の色（イエロー、レッド、マゼンタ、ブルー、シアン、グリーン）をカラーサークルで隣り合う色に近づけるように調整します。



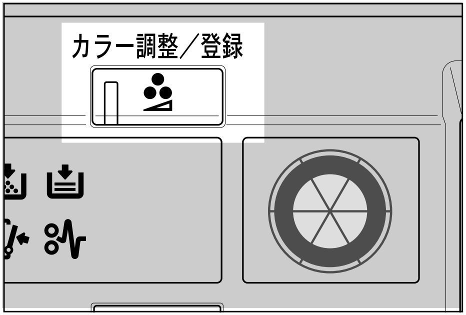
GCCPLR8J

補足

- ❒ イエロー、レッド、マゼンタ、ブルー、シアン、グリーンの中から3色まで同時に調整できます。
- ❒ カラー選択で「白黒コピー」「単色コピー」「2色コピー」を設定しているときは、カラー調整の内容は無効になります。

1 【カラー調整／登録】キーを押します。

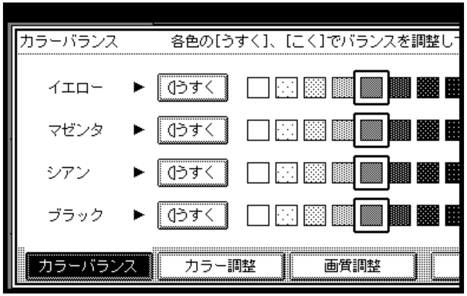
キーのランプが点灯します。



ZFNS014J

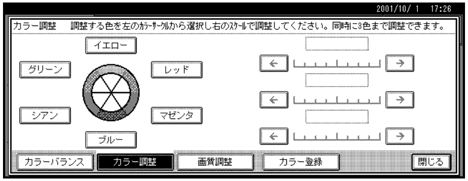
2 ［カラー調整］を押します。

カラーサークルが表示されます。



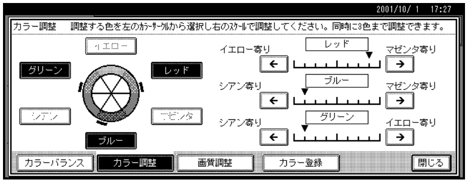
3 調整したい色を選択します。

同時に3色まで選択できます。



4 [←] [→] で色味を調整します。

9段階まで調整できます。



補足

- ❒ 「5」のレベルが初期値です。

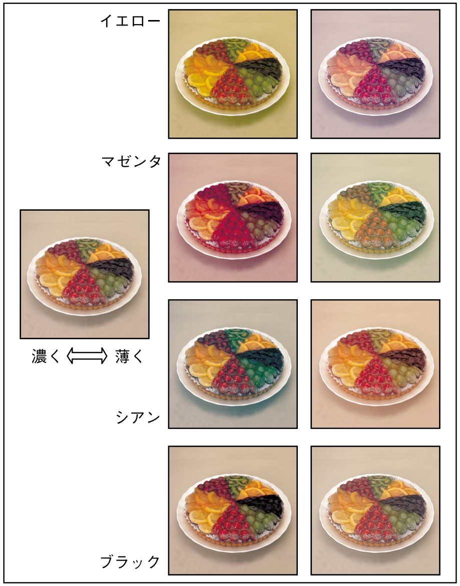
5 [閉じる] を押します。

補足

- ❒ カラー調整されている状態のときは、【カラー調整／登録】キーのランプは点灯したままです。
- ❒ オートクリアされたとき、【リセット】キーを押したとき、電源を切ったときには、調整した内容は取り消され、初期設定値に戻ります。

カラーバランス調整

コピー全体が赤みがかっていたり、青みがかっているときに、コピー全体の色味を調整します。



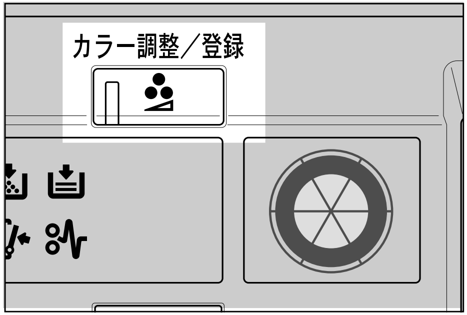
GCCPLR9J

補足

- ❒ 調整した内容を登録したり（カラーバランスプログラム）、調整した色をサンプル出力したり（カラーバランスモニター）できます。

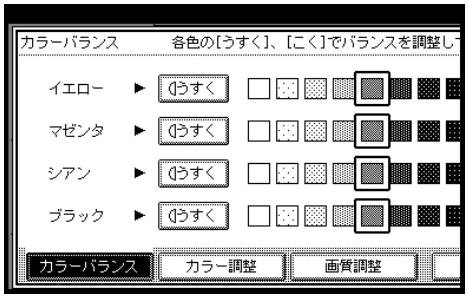
1 【カラー調整／登録】キーを押します。

キーのランプが点灯します。

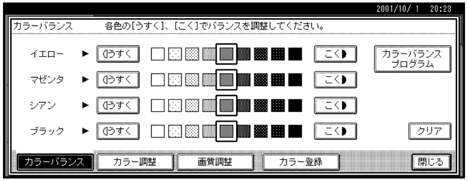


ZFNS014J

2 [カラーバランス]が選択されていることを確認します。



3 ［うすく］［こく］を押して調整します。



4 ［閉じる］を押します。

補足

- ❒ カラーバランスが調整されている状態のときは、**【カラー調整／登録】**キーのランプは点灯したままです。
- ❒ オートクリアされたとき、**【リセット】**キーを押したとき、電源を切ったときには、調整した内容は取り消され、初期設定値に戻ります。

カラーバランスプログラム

カラーバランス調整で調整した内容を、カラーバランスプログラムとして登録し、コピーするときに呼び出して使うことができます。

補足

- ❒ 3件まで登録できます。
- ❒ 登録した内容を変更したいときはもう一度登録し直してください。このとき、前に登録されていた内容は変更されます。

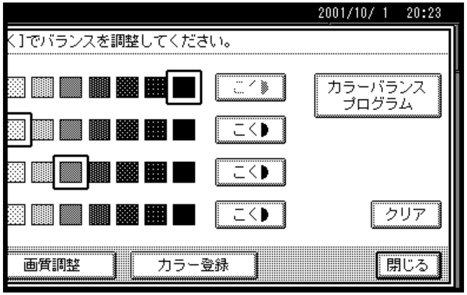
調整した内容を登録する

1 登録したいカラーバランスに調整しておきます。

参照

カラーバランスの調整方法は、「カラーバランス調整」を参照してください。⇒ P.86

2 ［カラーバランスプログラム］を押します。



3 ［登録］を押します。



4 登録／変更するプログラムの番号（［1］～［3］）を選択します。

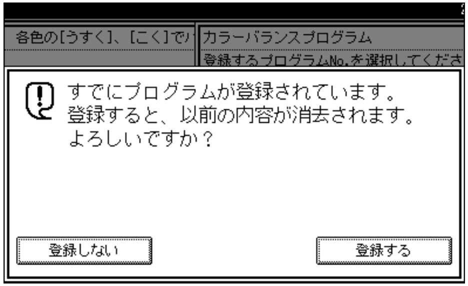
選んだ番号にカラーバランスが登録されます。

補足

- ❒ の表示されているプログラムの番号キーを選択すると、登録内容を変更（上書き）することになります。

上書きするとき

❶ ［登録する］を押します。



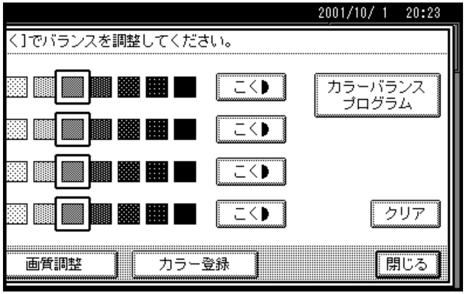
補足

- ❒ 上書きしないときは、［登録しない］を押します。

5 ［閉じる］を押します。

登録の内容を変更する

1 ［カラーバランスプログラム］を押します。

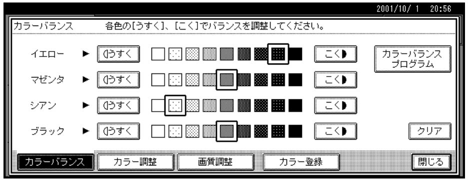


2 変更するプログラムの番号（［1］～［3］）を選択します。

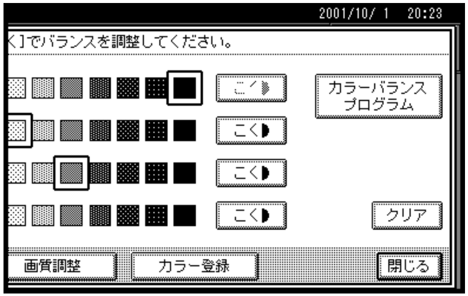
番号に登録されているカラーバランスが表示されます。



3 登録されている内容を変更します。



4 変更が終わったら、［カラーバランスプログラム］を押します。

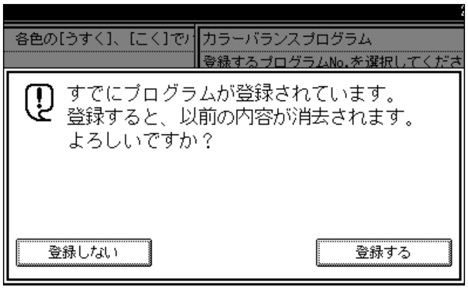


5 [登録] を押し、上書きするプログラム番号を押します。



6 [登録する] を押します。

カラーバランスプログラムが上書きされます。



補足

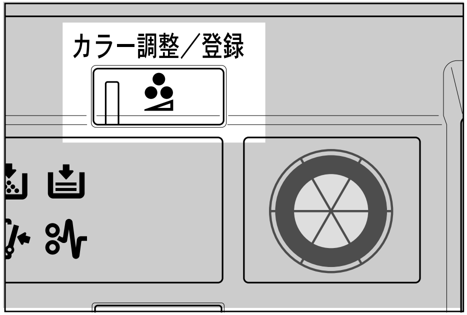
- ❒ 変更しないときは [登録しない] を押します。

7 [閉じる] を押します。

登録した内容を呼び出してコピーする

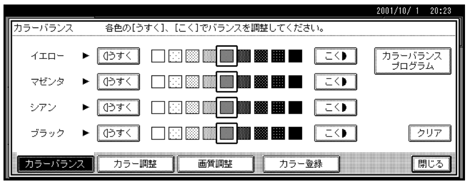
1 【カラー調整／登録】キーを押します。

キーのランプが点灯します。



ZFNS014J

2 [カラーバランス]が選択されていることを確認し、[カラーバランスプログラム] を押します。



3 ［呼び出し］が選択されていることを確認し、使用するカラーバランスが登録されているプログラムの番号を選択します。

登録されているカラーバランスの画面になります。



4 ［閉じる］を押します。

5 原稿をセットし、【スタート】キーを押します。

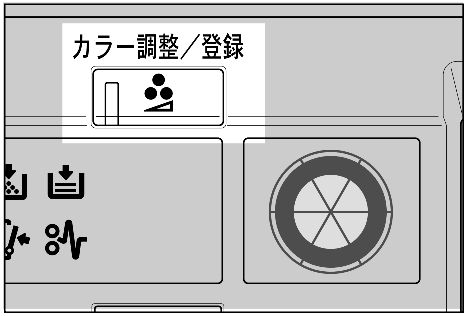
補足

- ❒ コピー終了後、オートクリアされたとき、【リセット】キーを押したときなどには、呼び出された内容は取り消されます。

登録した内容を消去する

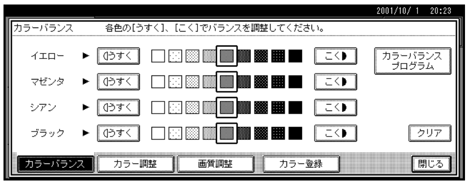
1 【カラー調整／登録】キーを押します。

キーのランプが点灯します。



ZFNS014J

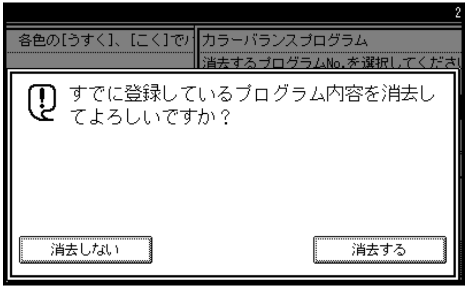
2 ［カラーバランス］が選択されていることを確認し、［カラーバランスプログラム］を押します。



3 [消去] を押し、消去するカラーバランスが登録されているプログラムの番号を選択します。



4 [消去する] を押します。



登録内容が消去されます。

補足

❒ 消去しないときは［消去しない］を押します。

5 [閉じる] を押します。

初期設定値の変更

よく行う操作内容に合わせて、初期設定値や操作の条件を変更します。

操作の前に

初期設定値の変更は、通常のコピー機能とは別の機能で操作します。操作後は、必ず元のコピー機能に戻してください。ここではコピー初期設定で設定できる項目を説明します。

選択したキーは反転表示されます。

ここで設定／変更した内容は、再度設定し直さない限り、主電源スイッチを切ったり、【電源】キー、【リセット】キーを押しても取り消されません。

参照

システム初期設定で設定できる項目については、使用説明書「システム設定編2　スキャナーユニット　タイプ8100対応版」「システム初期設定」を参照してください。

1 【初期設定／カウンター】キーを押します。



ZFNS016J

初期設定のメインメニュー画面が表示されます。

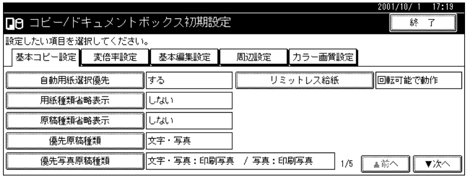
2 [コピー／ドキュメントボックス初期設定]を押します。

コピー／ドキュメントボックスの初期設定メニュー画面が表示されます。



3 設定したい項目を選択します。

それぞれの項目についての設定画面が表示されます。



補足

- ❒ ［▲前へ］［▼次へ］を押すと、メニュー画面の切り替えができます。

4 画面のメッセージにしたがって初期設定値を変更し、［設定］を押します。

補足

- ❒ ［設定］を押すと、機能を設定し、1つ前の選択画面に戻ります。
- ❒ ［取消］を押すと、元の設定に戻し、1つ前の選択画面に戻ります。

初期設定の終了

1 初期設定値の変更後、初期設定のメインメニュー画面で［終了］を押します。

初期設定値の変更が終了して、コピーできる状態になります。



補足

- ❒ 初期設定値の変更を中止し、コピーに戻りたいときは【**初期設定／カウンター**】キーを押します。
- ❒ 初期設定メインメニュー画面の終了を押す代わりに【**初期設定／カウンター**】キーを押しても終了できます。

コピー初期設定の項目

補足

- ❒ ______は工場出荷時の値です。
- ❒ 画面表示、選択できる項目は、設定やオプションの有無によって変わる場合があります。

基本コピー設定 1/5

❖ 自動用紙選択優先

電源を入れた直後、オートクリアされたときやリセットしたときに、自動用紙選択が設定されるようにするかしないかを設定します。⇒使用説明書「コピー機能 基本編」「用紙選択」

- する
- しない

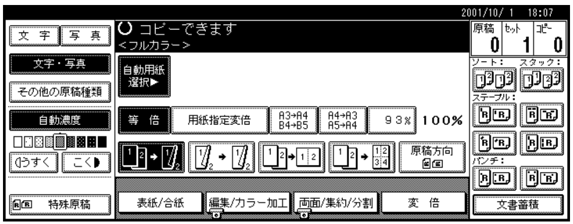
❖ 用紙種類省略表示

コピー初期画面の用紙種類（給紙トレイ）表示を省略するかしないかを設定します。

- する
- しない

補足

- ❒「する」を選択したときは、次のように表示されます。[自動用紙選択] を押すと、用紙種類が表示されます。

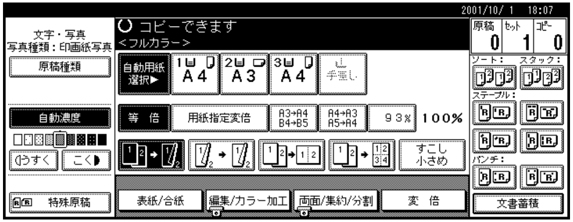


❖ **原稿種類省略表示**
コピー初期画面から原稿種類表示を省略するかしないかを設定します。

- **する**
- **しない**

補足

❒「する」を選択したときは、次のように表示されます。



❖ **優先原稿種類**
電源を入れた直後、オートクリアされたときやリセットしたときに、設定される原稿の種類を設定します。⇒使用説明書「コピー機能 基本編」「原稿種類選択」

- **文字**
- **文字・写真**
- **写真**
- **淡い原稿**
- **複写原稿**
- **地図**

❖ 優先写真原稿種類

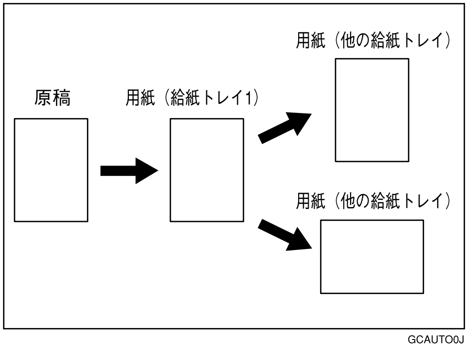
「優先原稿種類」で「文字・写真」または「写真」を選んだときに設定される原稿の種類を設定します。

- 印画紙写真
- 印刷写真
- 複写写真

❖ リミットレス給紙

コピー中に用紙がなくなったとき、同じサイズの用紙が他の給紙トレイにセットされていれば、用紙方向にかかわらず自動的にその給紙トレイから続けて給紙することができます(自動用紙選択時)。これを「リミットレス給紙」といいます。リミットレス給紙をするかしないかを設定します。

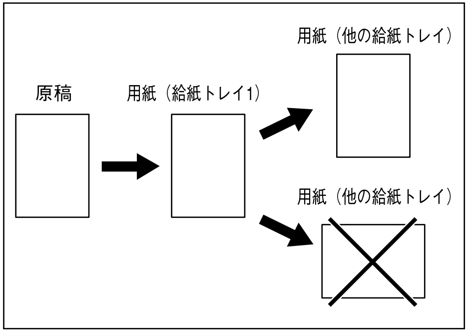
- 回転可能で動作
  リミットレス給紙を使ってコピーします。



制限

❒ 動作している機能によっては、回転しない場合があります。

- **回転不可で動作する**
  同じサイズで同じ方向の用紙がセットされている場合だけ、継続してコピーします。同じサイズで同じ方向の用紙がない場合は、“用紙を補給してください”が表示されコピーは中断されます。



GCAUTO1J

- **しない**
  用紙がなくなると、“用紙を補給してください”が表示されコピーは中断されます。

基本コピー設定 2/5

補足

- ❒ ______は工場出荷時の値です。

❖ 両面コピー優先設定

電源を入れた直後、オートクリアされたときやリセットしたときに、設定される両面コピーの種類を設定します。

- 片面→両面
- 両面→両面
- 片面→片面

補足

- ❒ 拡張HDD(40GB)、両面ユニット装着時のみ有効です。

❖ 両面コピーひらき方向設定

両面コピーするときの、コピーのひらき方向を設定します。

- 左右ひらき
- 上下ひらき

補足

- ❒ 拡張HDD(40GB)、両面ユニット装着時のみ有効です。

❖ 両面原稿ひらき方向設定

両面コピーするときの、原稿のひらき方向を設定します。

- 左右ひらき
- 上下ひらき

補足

- ❒ 拡張HDD(40GB)、両面ユニット装着時のみ有効です。

❖ **標準モード切り替え**

電源を入れた直後、オートクリアされたときやリセットしたときに設定されるモードが、通常かプログラムNo.10に登録しているものかを設定します。

- 通常
- プログラムNo.10

❖ **コピーセット枚数制限設定**

セットできるコピー枚数の上限を設定します。

- 「1～99」（1枚単位）の範囲で枚数をテンキーで入力します。

補足

❒ 工場出荷時は「99枚」に設定されています。

❖ **原稿忘れブザー音**

原稿の取り忘れを警告するブザー音を鳴らすか鳴らさないかを設定します。

- ON
- OFF

補足

❒ 「ブザー音」を「OFF」に設定すると、この機能を「ON」に設定しても無効になります。⇒使用説明書「システム設定編2 スキャナーユニット　タイプ8100対応版」「ブザー音」

❖ **ジョブ終了お知らせ**

コピーが終了したときに“ピーピーピー”というブザー音を鳴らすか鳴らさないかを設定します。また、「ブザー音」を「ON」に設定すると、給紙トレイに用紙がなくなった、用紙がつまったなどの理由でコピーが中断したときに“ピピピピ”というブザー音が鳴り、コピーが終了しなかったことをお知らせします。

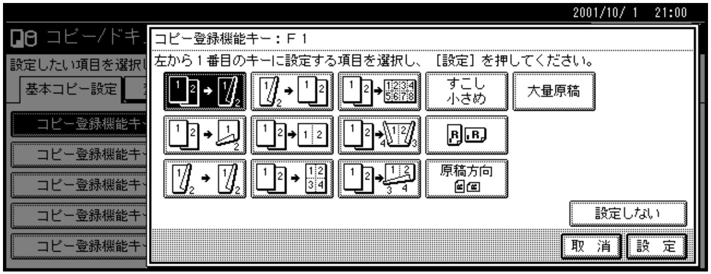
- ON
- OFF

基本コピー設定 3/5

補足

- ❒ ______は工場出荷時の値です。
- ❒ 自動原稿送り装置(ADF)、フィニッシャー、拡張HDD(40GB)装着時のみ有効です。

❖ **コピー登録機能キー：F1〜F5**
よく使用する機能を、F1からF5までの登録機能キーに登録しておくことができます。



- 「片面→両面：左右ひらき」
- 「片面→両面：上下ひらき」
- 「両面：左右ひらき→両面：左右ひらき」
- 「両面：左右ひらき→片面」
- 「片面→2枚ごと片面集約」
- 「片面→4枚ごと片面集約」
- 「片面→8枚ごと片面集約」
- 「片面→4枚ごと両面集約：左右ひらき」
- 「片面→4枚ごと両面集約：上下ひらき」

- 「すこし小さめ」
- 「ステープル(手前1カ所)」
- 「原稿方向」
- 「大量原稿」
- 設定しない

補足

❒ 工場出荷時のそれぞれのキーの初期設定値は次のとおりです。

- 両面機能があるとき
  - F1：片面→両面：左右ひらき
  - F2：両面：左右ひらき→両面：左右ひらき
  - F3：片面→2枚ごと片面集約
  - F4：片面→4枚ごと片面集約
  - F5：すこし小さめ
- 両面機能がないとき
  - F1：片面→2枚ごと片面集約
  - F2：片面→4枚ごと片面集約
  - F3：片面→8枚ごと片面集約
  - F4：設定しない
  - F5：すこし小さめ

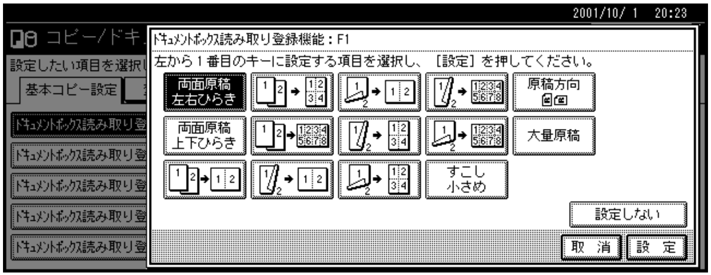
基本コピー設定 4/5

補足

- ❒ ______は工場出荷時の値です。

❖ ドキュメントボックス読み取り登録機能：F1〜F5

よく使用する機能を、F1からF5までの登録機能キーに登録しておくことができます。また、登録した機能を変更することもできます。



- 「両面原稿左右ひらき」
- 「両面原稿上下ひらき」
- 「片面→2枚ごと片面集約」
- 「片面→4枚ごと片面集約」
- 「片面→8枚ごと片面集約」
- 「両面：左右ひらき→2枚ごと片面集約」
- 「両面：上下ひらき→2枚ごと片面集約」
- 「両面：左右ひらき→4枚ごと片面集約」
- 「両面：上下ひらき→4枚ごと片面集約」

- 「両面：左右ひらき→8枚ごと片面集約」
- 「両面：上下ひらき→8枚ごと片面集約」
- 「すこし小さめ」
- 「原稿方向」
- 「大量原稿」
- 設定しない

補足

❒ 工場出荷時のそれぞれのキーの初期設定値は次のとおりです。

- F1：両面原稿左右ひらき
- F2：片面→2枚ごと片面集約
- F3：片面→4枚ごと片面集約
- F4：片面→8枚ごと片面集約
- F5：すこし小さめ

基本コピー設定 5/5

補足

❒ ______は工場出荷時の値です。

❖ **リセット時手差し設定**

電源を入れた直後、オートクリアされたときやリセットされたときに、手差しコピーの設定がクリアされるかされないかを設定します。

- クリアする
- クリアしない

❖ **カラー優先**

「白黒」と「フルカラー」のどちらかの画質を優先してコピーするかしないかを選択します。

- フルカラー
- 白黒

❖ **カラー選択＜2色＞優先設定**

「2色カラー」時、「2色（黒・赤）」と「2色」のどちらかの画質を優先して選択するかを設定します。

- 2色（黒・赤）
- 2色

❖ **自動濃度優先**

電源を入れた直後、オートクリアされたときやリセットしたときに、自動濃度が設定されるようにするかしないかを設定します。⇒使用説明書「コピー機能 基本編」「コピー濃度調整」

- フルカラー・2色：する／しない
- 白黒・単色：する／しない

変倍率設定 1/2

❖ 基本画面倍率キー設定：１～３

固定倍率以外でよく使用する倍率を3つまで登録し、コピー初期画面に表示させることができます。また登録した倍率を変更することもできます。

- 縮小（25%／50%（A3→A5，B4→B6）／71%（A3→A4，B4→B5）／82%（B4→A4，B5→A5）／87%（A3→B4，A4→B5）／93%）
- 拡大（115%（B4→A3，B5→A4）／122%（A4→B4，A5→B5）／141%（A4→A3，A5→A4）／200%（A5→A3，B6→B4）／400%）
- 任意倍率（25～400%）
- 設定しない

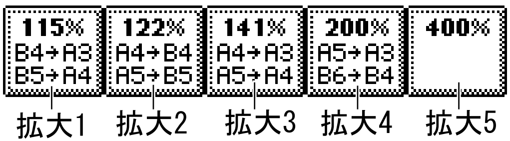
補足

❒ 工場出荷時の初期設定値は次のとおりです。

- F1：71%（A3→A4，B4→B5）
- F2：141%（A4→A3，A5→A4）
- F3：93%

❖ 変倍率：拡大１～５

［変倍］を押し、［拡大］を押したとき、表示される拡大1から拡大5までの拡大キーの変倍率を設定します。



- 115%
- 122%
- 141%
- 200%
- 400%
- **任意拡大**（101〜400%）

補足

❒ **工場出荷時の初期値は次のとおりです。**

- **拡大**1：115%
- **拡大**2：122%
- **拡大**3：141%
- **拡大**4：200%
- **拡大**5：400%

❖ 拡大の優先設定

［変倍］を押し、［拡大］を押したとき、優先される拡大率を設定します。

- 115%
- 122%
- 141%
- 200%
- 400%

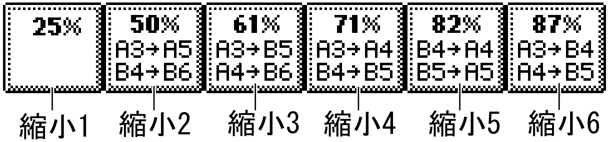
補足

❒ **変倍率：拡大**1〜5**で各変倍率を設定しているときはその数値になります。**

変倍率設定 2/2

❖ **変倍率：縮小１～6**

［変倍］を押し、［縮小］を押したときに、表示される縮小1から縮小6までの縮小キーの変倍率を設定します。



- 25%
- 50%
- 61%
- 71%
- 82%
- 87%
- **任意縮小**（25～99%）

補足

❒ **工場出荷時の初期値は次のとおりです。**

- **縮小1：**25%
- **縮小2：**50%
- **縮小3：**61%
- **縮小4：**71%
- **縮小5：**82%
- **縮小6：**87%

❖ 縮小の優先設定

［変倍］を押し、［縮小］を押したとき、優先される縮小率を設定します。

- 25%
- 50%
- 61%
- 71%
- 82%
- 87%

補足

- ❒ 変倍率：縮小1〜6で各変倍率を設定しているときはその数値になります。

❖ すこし小さめ変倍率設定

登録機能キーに「すこし小さめ」を登録するときの変倍率を設定します。

- 93%

補足

- ❒「90〜99」(1%単位）の範囲で変倍率をテンキーで入力します。

❖ 変倍タブ優先機能設定

コピー初期画面に優先的に表示される変倍タブを選択します。

- 縮小
- 拡大
- テンキーズーム

基本編集設定 1/2

補足

- ❒ ______は工場出荷時の値です。

❖ 左右とじしろ幅設定（おもて面）

おもて面の左右とじしろ幅を設定します。

- <u>左</u>
- 右

補足

- ❒「0〜30mm」（1mm単位）の範囲でとじしろ幅をテンキーで入力します。
- ❒ 工場出荷時は「左 5mm」に設定されています。

❖ 左右とじしろ幅設定（うら面）

うら面の左右とじしろ幅を設定します。

- 左
- <u>右</u>

補足

- ❒「0〜30mm」（1mm単位）の範囲でとじしろ幅をテンキーで入力します。
- ❒ 工場出荷時は「右 5mm」に設定されています。

❖ 上下とじしろ幅設定（おもて面）

おもて面の上下とじしろ幅を設定します。

- 上
- 下

補足

- ❒「0～30mm」（1mm単位）の範囲でとじしろ幅をテンキーで入力します。
- ❒ 工場出荷時は「上下 0mm」に設定されています。

❖ 上下とじしろ幅設定（うら面）

うら面の上下とじしろ幅を設定します。

- 上
- 下

補足

- ❒「0～30mm」（1mm単位）の範囲でとじしろ幅をテンキーで入力します。
- ❒ 工場出荷時は「上下 0mm」に設定されています。

❖ 片面→両面時裏面自動左右とじしろ

片面→両面コピーするとき、自動的に裏面にとじしろが設定されるようにするかしないかを設定します。

- 左
- 右

補足

- ❒ 拡張HDD(40GB)、両面ユニット装着時のみ有効です。
- ❒「する」を選択したときのとじしろ幅は「左右とじしろ幅設定（うら面）」で設定した数値が適用されます。
- ❒「0～30mm」（1mm単位）の範囲でとじ幅をテンキーで入力します。
- ❒ 工場出荷時は「右 5mm」に設定されています。

❖ 片面→両面時裏面自動上下とじしろ

片面→両面コピーするとき、自動的に裏面にとじしろが設定されるようにするかしないかを設定します。

- 上
- 下

補足

❒ 拡張HDD(40GB)、両面ユニット装着時のみ有効です。

❒「する」を選択したときのとじしろ幅は「上下とじしろ幅設定（うら面）」で設定した数値が適用されます。

❒「0〜30mm」（1mm単位）の範囲でとじしろ幅をテンキーで入力します。

❒ 工場出荷時は「上下 0mm」に設定されています。

❖ 枠消去幅設定

枠消去の幅を設定します。

- 10mm

補足

❒「2〜99mm」（1mm単位）の範囲で消去幅をテンキーで入力します。

❒ 工場出荷時は「10mm」に設定されています。

❖ 集約コピー時枠消去

集約コピーをするとき、原稿の周辺3mmを消去するかしないかを設定します。

- する
- しない

❖ センター消去幅

センター消去の幅を設定します。

- 10 mm

補足

❒「2〜99mm」（1mm単位）の範囲で消去幅をテンキーで入力します。

❒ 工場出荷時は「10mm」に設定されています。

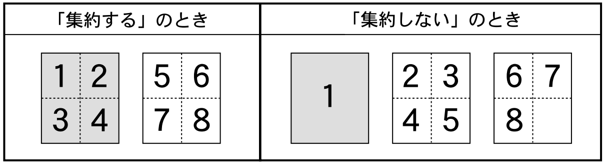
基本編集設定 2/2

補足

- ❒ ______は工場出荷時の値です。

❖ おもて表紙ページ集約設定

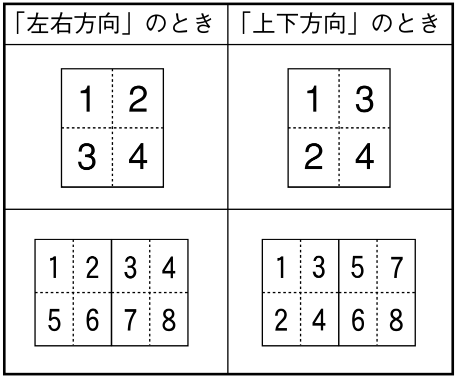
おもて表紙のページを集約するかどうかを設定します。



- <u>集約する</u>
- 集約しない

❖ 集約時並び順

片面1面への集約コピーのコピーされる順を設定します。

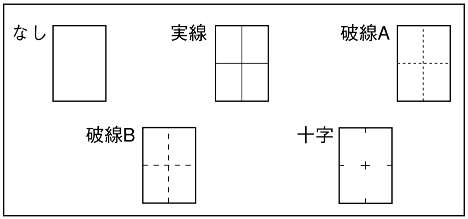


GCCOMB0J

- <u>左右方向</u>
- 上下方向

❖ リピート仕切り線

リピートの仕切り線の種類と色を設定します。⇒ P.26 「リピート」



- 仕切り線種類：<u>仕切り線なし</u>／実線／破線A／破線B／十字

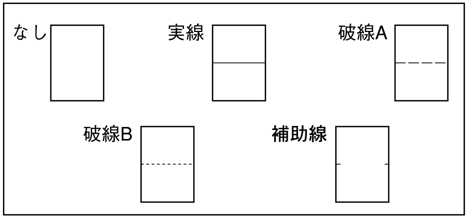
- フルカラー時の仕切り線色：イエロー／レッド／シアン／マゼンタ／グリーン／ブルー／ブラック

補足

- ❒「仕切り線なし」のときは指定できません。
- ❒ 白黒時は黒、単色時は指定色、2色（標準）時は黒部分の指定色、2色（黒・赤）時は黒で印刷されます。
- ❒ 実線、または破線の仕切り線を指定したときは、仕切り線の幅として約1.5mm画像が欠けることがあります。

❖ ダブルコピー仕切り線

ダブルコピーの仕切り線の種類と色を設定します。⇒ P.31 「ダブルコピー」



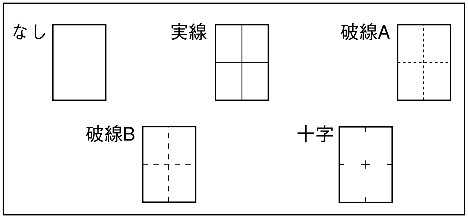
- 仕切り線種類：仕切り線なし／実線／破線A／破線B／補助線
- フルカラー時の仕切り線色：イエロー／レッド／シアン／マゼンタ／グリーン／ブルー／ブラック

補足

- ❒「仕切り線なし」のときは指定できません。
- ❒ 白黒時は黒、単色時は指定色、2色（標準）時は黒部分の指定色、2色（黒・赤）時は黒で印刷されます。
- ❒ 実線、または破線の仕切り線を指定したときは、仕切り線の幅として約1.5mm画像が欠けることがあります。

❖ **集約コピー仕切り線**

集約コピーの仕切り線の種類と色を設定します。⇒使用説明書「コピー機能 基本編」「集約」



- **仕切り線種類：仕切り線なし／実線／破線A／破線B／十字**
- **フルカラー時の仕切り線色：イエロー／レッド／シアン／マゼンタ／グリーン／ブルー／ブラック**

補足

- ❒「仕切り線なし」のときは指定できません。
- ❒ 白黒時は黒、単色時は指定色、2色（標準）時は黒部分の指定色、2色（黒・赤）時は黒で印刷されます。
- ❒ 実線、または破線の仕切り線を指定したときは、仕切り線の幅として約1.5mm画像が欠けることがあります。

周辺設定

補足

- ❒ ______は工場出荷時の値です。

❖ 大量原稿モード切り替え

電源を入れた直後、オートクリアされたときやリセットしたときに、大量原稿モードを優先するかSADFモードを優先するかを設定します。

- 大量原稿
- SADF

補足

- ❒ 自動原稿送り装置(ADF)装着時のみ有効です。

❖ SADFオートリセット時間設定

SADF機能のとき、設定した時間が過ぎると、次の原稿をセットしても自動的に送られません。この時間を設定します。⇒使用説明書「コピー機能 基本編」「SADF機能」

- 5秒

補足

- ❒ 自動原稿送り装置(ADF)装着時のみ有効です。
- ❒「3～99秒」（1秒単位）の範囲で時間をテンキーで入力します。

❖ 回転ソート：回転給紙継続設定

回転ソートしているときに縦横どちらかの給紙トレイの用紙がなくなったとき、コピーの継続をするかしないかを設定します。⇒使用説明書「コピー機能 基本編」「ソート」

- する
- しない

補足

- ❒ 拡張HDD(40GB)装着時のみ有効です。
- ❒「する」のとき
    - 他方向の用紙サイズに回転して出力を継続し、機械から離れていてもコピーは仕上がります。
- ❒「しない」のとき
    - 縦横どちらかの給紙トレイの用紙がなくなったとき、コピーは中断し、用紙補給のメッセージが表示されます。用紙を補給することでコピーを継続します。

❖ ソート優先

電源を入れた直後、オートクリアされたときやリセットしたときに、ソートを選択した状態にするかしないかを設定します。

- する
- しない

補足

- ❒ 拡張HDD(40GB)装着時のみ有効です。

❖ ソート全数読み取り設定

原稿の読み取りの途中でメモリーがいっぱいになったとき、読み取った原稿だけをコピーしたあと、残りの原稿の読み取りを自動的に継続するかしないかを設定します。

- する
- しない

補足

- ❒ 拡張HDD(40GB)装着時のみ有効です。
- ❒「する」のとき
    - 機械から離れていてもコピーは仕上がりますが、ページが別れてソートされてしまいます。
- ❒「しない」のとき
    - メモリーがいっぱいになると、機械がいったん停止するので、分割されるたびに排紙トレイのコピーを取り除くことができます。

❖ **スタックキー機能切り替え**
コピー初期画面のソートで優先的に表示されるキーを設定します。

補足

❒ **フィニッシャー、拡張HDD(40GB)装着時のみ有効です。**

- スタック
- 回転ソート

❖ **ステープル種類選択**
コピー初期画面のステープルで優先的に表示されるキーを選択します。

補足

❒ **フィニッシャー装着時のみ有効です。**

- 上2ヵ所
- 手前

❖ **レターヘッド紙使用設定**
レターヘッド紙を使用するかしないかを選択します。

参照

レターヘッド紙を使用するときは用紙のセット方向に注意してください。⇒ P.128「レターヘッド紙について」

- 使用する
- 使用しない

カラー画質設定

❖ 自動濃度の濃度設定（フルカラー・2色）

「自動濃度」は地肌をとばしてコピーされるように調整されています。「フルカラー」「2色コピー」時の「自動濃度」レベルを5段階に調整します。

- ［うすく］または［こく］を押して調整します。
- 5段階調整の中央

❖ カラー幅調整

「指定色消去」の指定する色や「2色コピー（黒・赤）」の赤色の幅を5段階に調整します。

補足

❒ 例えば、消去する色にレッドを指定したとき、色の幅を「ひろく」しておくとマゼンタやオレンジに近い色まで消去されます。「せまく」しておくとレッドが消去されます。

- ［せまく］または［ひろく］を押して調整します。
- 5段階調整の中央

仕様

複写方式	乾式二成分電子写真方式
書き込み方式	レーザービームによる各色順次書き込み（ブラック、イエロー、シアン、マゼンタ）
原稿読み取り方式	原稿固定走査線方式および原稿移動走査線方式（ADF）
ウォームアップタイム	約119秒以下（温度23℃・定格電圧）
連続複写速度（等倍時）	通常モード
フルカラー（4色）	28枚/分（A4▯）[*1]
	14枚/分（A3▭）
白黒	38枚/分（A4▯）[*1]
	18枚/分（A3▭）
ファーストプリント	通常モード
フルカラー	10秒以下
白黒	8秒以下

[*1] OHP、厚紙モードのときは10枚/分（A4▯）。

複写原稿	シート、ブック、立体物
最大原稿サイズ	A3▭（297×420mm）、11×17（279.4mm×431.8mm）
複写サイズ	A3▭～はがき▭（100×148mm）、11×17～5 1/2×8 1/2▯▭、12×18▭
画像欠け幅	先端5mm、後端6mm、左右端4mm以下
複写倍率	等倍100% 拡大115%、122%、141%、200%、400% 縮小25%、50%、61%、71%、82%、87%、少し小さめ（93%） ズーム25～400%（1%単位の任意選択） 倍率誤差圧板等倍：±0.55%、ADF：±1.0%以下

連続複写	1～99枚
最大消費電力	1.5kW以下
付加機能	カラー選択（フルカラー、単色コピー、白黒コピー、2色コピー） 編集（とじしろ、リピート、センタリング、ダブルコピー） カラー加工（指定色消去） 画質調整（シャープ／ソフト、コントラスト、地肌調整、UCR調整、文字写真判定調整） カラーバランスプログラム カラー調整、カラー登録 用紙選択（自動、マニュアル） コピー濃度調整（自動、マニュアル） 原稿種類選択（文字写真、文字、写真、淡い原稿、複写原稿、地図） オートスタート、割り込みコピー、リセット、予熱、手差しコピー、プログラム、予約コピー、大量原稿、サイズ混載 変倍（定形変倍、ズーム、寸法変倍、独立変倍、用紙指定変倍） センター／枠消去 ソート（オプション）、スタック（オプション）、ステープル（オプション） 分割（見開き→片面、左右ページ→両面（オプション）、表裏ページ→両面（オプション）） 表紙（おもて表紙／両表紙）、合紙 ドキュメントボックス（オプション） 集約（片面集約、両面集約（オプション）） 両面（片面→両面、両面→両面）（オプション） パンチ（オプション） 回転ソート（オプション） 偽造防止機能

電波障害について

他のエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に、近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は、次のようにしてください。

- テレビやラジオなどからできるだけ離す。
- テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える。
- コンセントを別にする。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

原稿について

セットできる原稿のサイズと紙厚

原稿セット先	原稿サイズ	原稿紙厚
原稿ガラス	A3(297×420mm)、11×17 (279×432mm)まで	—
自動原稿送り装置(ADF)	片面原稿時A3▭〜B6▯▭、11×17 ▭〜5½×8½▯▭、297×432mm	40〜128g/m²(35〜110kg)
	両面原稿時A3▭〜A5▯▭、11×17 ▭〜5½×8½▯▭	52〜105g/m²(45〜90kg)

補足

- ❒ 自動原稿送り装置(ADF)にセットできる枚数は『リコピー PPC用紙タイプ6000』のとき約80枚です。
- ❒ サイズ混載機能時は、52〜81g/m²(45〜70kg)です。

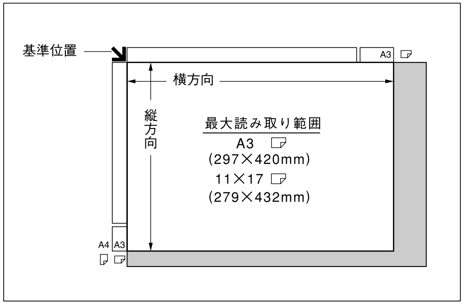
自動的に読み取れる原稿サイズ

原稿サイズ / 原稿セット先	国内で使われているサイズ					海外で使われているサイズ					
	A3▭	B4▭	A4▯▭	B5▯▭	A5▯▭	11×17▭	11×15▭	Legal (8 1/2"×14)▭	Letter (8 1/2×11)▯	Letter (8 1/2×11)▭	5 1/2×8 1/2▯▭
原稿ガラス	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×
自動原稿送り装置(ADF)	○	○	○	○	○	○ *2	○	×	○	○ *1	×

*1 A4▭の代わりにLetter(8 1/2×11)を読み取れるようにしたいときは、サービス実施店にご連絡ください。

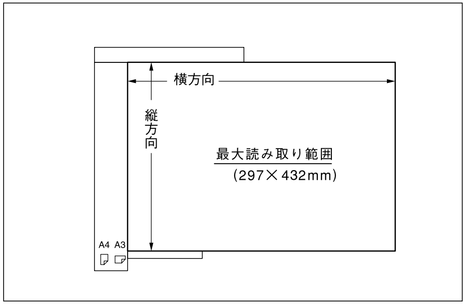
*2 11×15▭の代わりに11×17▭を読みとれるようにしたいときは、サービス実施店にご連絡ください。

❖ 原稿ガラス



CP1-A

❖ 自動原稿送り装置(ADF)

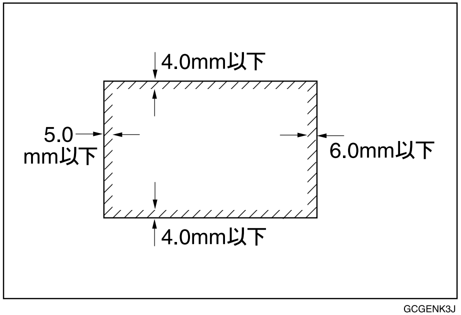


CP2-A

画像欠け範囲

原稿の周囲から内側数mmはコピーできません。

❖ 原稿欠け範囲（A3□またはDLT□までの用紙にコピーしたとき）



自動原稿送り装置 (ADF) にセットできない原稿

次のような原稿を自動原稿送り装置(ADF)にセットすると、紙づまり、原稿破損、白スジ、黒スジの原因になることがあります。原稿ガラスにセットしてください。

- ⇒ P.124「セットできる原稿のサイズと紙厚」以外の原稿
- ステープラーの針やクリップのついた原稿
- 穴、破れのある原稿
- そり、折れ、しわのある原稿
- はり合わせた原稿
- 感熱紙、アート紙、銀紙、カーボン紙、導電性の用紙などのように表面が加工された原稿

- ミシンがけ原稿
- インデックスや付せんなど、はみ出た部分のある原稿
- トレーシングペーパー（第二原図用紙）などのようにすべりにくい原稿
- 登記簿などに使われるような薄くてやわらかい原稿
- 官製はがきのような厚い原稿
- 本などのようにとじてある原稿
- OHPフィルムやトレーシングペーパー（第二原図用紙）などのように透明度の高い原稿
- 修正液やインクなどが完全に乾いていない原稿

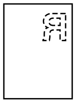
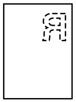
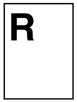
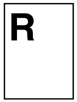
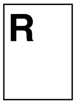
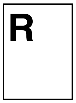
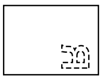
サイズを読み取りにくい原稿

次のような原稿はサイズを読み取りにくいため、「自動用紙選択」を設定しても正しいサイズの用紙が選択されないことがあります。手動で用紙を選択してください。

- 付せんやインデックスなどはみ出た部分のある原稿
- OHPフィルムやトレーシングペーパー（第二原図用紙）などのように透明度の高い原稿
- 文字や絵柄部などが多く、全体に黒っぽい原稿
- 部分的にベタ部がある原稿
- 周囲にベタ部がある原稿

レターヘッド紙について

レターヘッド紙やビジネス用便箋など、天地の向きや表裏がある用紙は、原稿のセット、用紙のセットの組み合わせによって、正しく印刷されないことがあります。「レターヘッド紙使用設定」を「使用する」に設定し、次のように原稿、用紙をセットしてください。⇒ P.119 「レターヘッド紙使用設定」

用紙セット / コピーモード		本体給紙トレイ 給紙テーブル	2000枚 給紙テーブル	手差しトレイ	
				原稿を原稿ガラスにセット	原稿を自動原稿送り装置(ADF)にセット
用紙セット方向	片面			 *1	 *1
	両面			—	—
用紙セット方向	片面		—	 *1	 *1
	両面		—	—	—

*1　用紙サイズを指定しているとき

GCCPLR0J

使用上のお願い

- 連続してコピーすると、原稿ガラス表面が熱いと感じることがありますが、異常ではありません。
- コピー中に電源を切らないでください。電源を切るときは、コピーが終了していることを確認してください。
- コピー中に前カバーや給紙カバーを開けないでください。コピーが停止し、用紙がつまります。
- コピー中に本機を動かしたり、傾けたりしないでください。また、振動を与えないでください。
- 本機に登録した内容は、必ず控えをとるようにしてください、お客様が操作をミスしたり、本機に異常が発生した場合、登録した内容が消失することがあります。
- 本機の故障による損害、登録した内容の消失による損害、その他の使用により生じた損害について、当社は一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。
- 急激な温度の変化により、機械の内部に水滴が生じ、適切な画像が得られないことがあります。このような不具合を避けるため、夜間等使用しないときは、主電源スイッチはON状態、操作部の電源キーをOFFにしてください。また、これらの操作でも適正な画像が得られないときは、適正になるように結露防止ヒーターを用意しています。（オプション）
  結露防止ヒーターは電源キーがOFF、電源コードがコンセントにセットされている状態で働きます。

索引

アルファベット索引

あ行

か行

さ行

た行

は行

ま行

や行

ら行

わ行

機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。

おことわり

1. 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
2. 本製品（ハードウエア、ソフトウエア）および使用説明書（本書・付属説明書）を運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。
3. 本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。

2002年1月　G570-8518